

はじめに

フォーチュンソフトの四柱推命養命法・芸海法というDVD講座の内容をベースにして、これまでの星平会海占いスクールの内容を融合させた書籍が本書です。

占いに関心がある人の多くは、現実を正確にみる事ができません。そんなことはないとお怒りでしょうが、例をあげてみましょう。

2012年5月におきた取水制限の事件を覚えているでしょうか？NHKという大衆洗脳番組では、次のように言っています。埼玉県は18日、庄和浄水場（同県春日部市）と行田浄水場（同県行田市）で処理後の水から、国の基準値を超える化学物質「ホルムアルデヒド」を検出したことを明らかにした。犯人はある企業の工場に特定されたのですが、これをそのまま信じる人は現実を見る能力がありません。その前後に、北関東の湖や池から大量のセシウムが検出されたという報道があったことを考えると事件の真相は想像できるはず。その企業はスケープゴートにされたわけです。ただその企業の経営社の経歴を調べると政府・役所との出来レースだったかもしれないとも予想できるのです。

次に2009年、中川昭一財務大臣の「深酒居眠り会見」を見て、そのまま信じる人は現実を見る

第一章

養命・
芸海法



■養命法と芸海法

◆五術

今回は、四柱推命の養命法、芸海法というテーマについて説明していきます。参考になるのは、中国医学の漢方医学です。

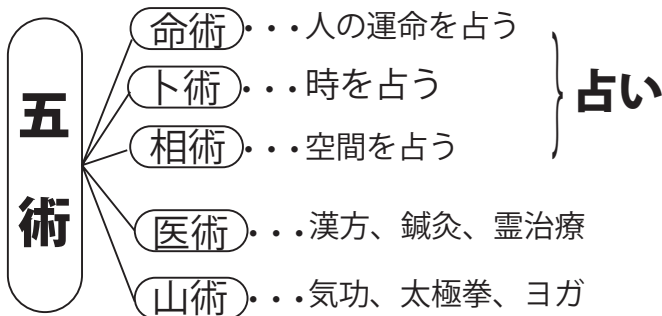
もともと運命学には「**命・^{メイ}卜・^{ソウ}相・^イ医・^{ザン}山**」という五術があります。

命術は、四柱推命、紫微斗数推命、西洋占星学、宿曜教と言った、生年月日から占うものです。

卜術は、いつ地震が起きますか？来年、株は上がるのでしょうか？といった事柄を占う運命学です。

相術は、印相や人相、手相、墓相、家相、風水といった、形を見るものです。

次に医術という分野です。ここで東洋医学や漢方などが出てきます。今回は、この医術と命術の混合された内容をお話いたします。

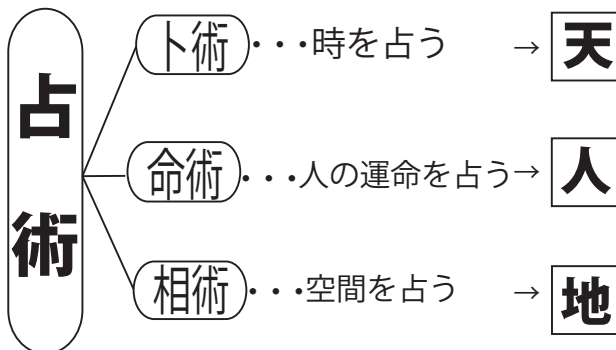


ます。

医者とは、患者の病気が治らないと文句を言われます。しかし、「命術・卜術・相術」の占いは、クライアントが開運しなくても、占い師はそれほど文句は言われません。だから医学のほうが、まともな発展してきたのです。

占いというのは、あなたの生年月日が悪いのだ、あなたの命が悪いのだと言われると、「ああ、そうですか」となってしまいます。医学の方は、そうはいきません。

五術の最後が「山」です。山というのは体操のことです。中国に行く朝五時から公園で太極拳などをやっていますね、あれが山です。



◆四柱推命による養命と芸海とは？

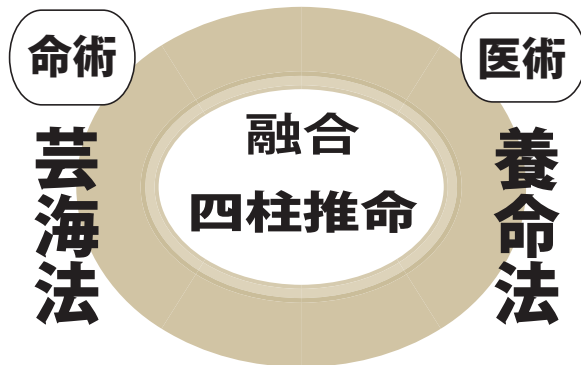
古代中国の医術の分野で『養命』、命術の分野で『芸海』、そういった言葉があります。

* 『養命』というのは、持って生まれた命を養い養生するという学問です。

* 『芸海』というのは、聞きなれない言葉だと思います。『芸海』の『海』というのは、人間の脳髓のことです。『芸』というのは最高の状態のことです。すなわち、あなたの脳髓を最高の状態まで引き上げる方法、これが『芸海法』なのです。

今回は、この『養命』と『芸海』、二つの方法と四柱推命を融合させて説明していきます。今までのような、古典的な占いとはまったく違います。持って生まれてきた命をとことんまで養う、限界まで発揮させるための四柱推命です。

運がいいとか悪いとか、命式がいいとか悪いとか、吉とか凶も言いません。限界まで能力を発揮させるための四柱推命です。



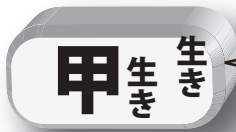
◆命式が死んでいる

何万人も鑑定していくと、プロのカウンセラーや占い師はみんな知っていることですが、運の悪い人はほとんどが持つて生まれた命式の通りに生きていません。持つて生まれた能力をみんな殺して生きているのです。だから運が悪いのです。運のいい人は、持つて生まれた命、いのちを活用して生きているのです。運の悪い人は、ゾンビ状態なのです。

日干『甲』の人で、「会社が悪い、上司が悪い、オレの能力のほうが高いのに」と文句ばかり言っている人がいたら、この人はプライドばかりが高くなっていて、本来の『甲』の能力が発動されていない状態なのです。

『甲』の一番の能力は、思考です、活字で考える、深く考える、真理を求める、こういう思考パターンが『甲』なのに、それが働いていない人なのです、つまり『甲』が死んでいるのです。

カルロス・ゴーン



子		卯		午		天干
(水)		(木)		(火)		地支
壬	癸	甲	乙	丙	丁	蔵書
偏印	印綫	比肩	劫財	食神	正財 傷官	
沐浴		帝旺		死		十二運

深く考える
権力を目指す
日産は技術がある
オレが立てなおしてやろう！

◆生きている人・死んでいる人

気力にあふれて生きている人は『実』

気力がなくて死んでいるような人は『虚』

このように漢方医学の言葉では言います。死んだ人というか、いわゆるエネルギーのない状態のことを指します。

中国医学では、腎臓の『腎』は五行で言うくと水で、精力を表します。精力というのは性的なことだけではなく、生きる源のことです。これは腎臓によるといいます。

腎臓が弱まっている人は精力がない、『腎虚』といいます。『虚』となると生きる精力がなく、会社が悪い、上司が悪い、能力がなくないくせにと、文句ばかり言っている状態になります。

これを『凶の甲』とは言いません。エネルギーが弱い状態、うつろな状態の『虚の甲』なのです。

一方でエネルギーがきちんと作用している、腎臓が強くて、精

*注意

「■」で始まる文章は、本文の補足説明になります。

「※」で始まる文章は、紅竜の意見です。

※人は、依存するものがあると、それがなければ何もできないようになつてしまいます。例えば、酒、タバコ、彼氏、彼女、父、母、妻、夫、薬、医者、指導者、師匠、グルなど。

■精気が強い・・・『実』

■精気が弱い・・・『虚』

力があって、バンバン出世街道を目指して頑張っている人を、『実』
というのです。

当然そういう人も文句は言います。しかし、グジグジしないの
です。例えば、不満があるのなら直接上司に談判するか、それ
でも通じないようならケンカを売るとか、社長をぶん殴るとか、
辞表を叩きつけて自分で会社を作るとか、そういうのが『実』の
プライドです。

◆エネルギーの『実・虚』

こういった、エネルギーが生きている状態が『実』、エネルギー
が死んでいる状態が『虚』です。この東洋医学で使っている『実
と虚』の概念、これを占いにも取り入れます。

『吉と凶』は言いません。

甲のエネルギーが生きている

とことん頑張る！ 前向き！
出世街道まっしぐら！

実

甲のエネルギーが死んでいる

文句たらたら
会社がわるい！ 部下が悪い

虚

『実と虚』で判断します。

『陰と陽』も使います。

甲でも陰と陽の部分があるわけです。深く考えるという思考は陰陽で言えば陰です。出世街道まっしぐらという社会活動は陽です。さらにこの陰と陽も『実』と『虚』に分かれます。

エネルギーがあつて他人を出し抜いて出世したい、そういうのが『実』。エネルギーがないと言つて、どうせ自分だめなんだから、出世しなくていいよ、平々凡々と生きていればいいよ、公務員にでもなるうか、というのが『虚』の生き方。

どこまでも真理を追求して、どこまでも深く考えて、会社を立てなおしてやろう、そういうのが『実』の思考。そういうのを考えないで、グジグジ迷つてばかりいるのが『虚』の思考。このようにエネルギーがあるかないかで分けます。

※目に見えるものを陽、その背景にあるのを陰として、陰陽の姿をとらえてみます。そのとき、陽が活発であれば、その背景にある陰の気も活発です。陽の気ハリがなければ、見えない陰の気もくたびれています。

※元気がなくなると、身体は冷たく冷えてきます。エネルギーがない状態のときは、身体も冷え老化も早まります。身体を温めると精神的にも安定し、対人関係も穏やかになります。

◆インフルエンザワクチンビジネス

現代の日本人は西洋医学に洗脳されていますが、西洋医学は万能ではないです。

例えば、毎年冬になるとインフルエンザが流行しますが、今年はその子供も感染して一週間ぐらい大変な目に会いました。

国は、インフルエンザの時期になると、ワクチンを用意します。しかし、効かないワクチンです。それを、2000万人分用意しています。

この原価をご存知でしょうか？原価350円です。これを病院でうつと、3000円かかります。輸入品を含めると、おそらく5000万人分ぐらいは国は用意するでしょう。ここに一人頭3000円をかけてみてください。一兆円超えます。どれほどの医療ビジネスがここで展開されているのかがわかるでしょう。

看護婦さんが一人しかいないような個人の開業医が、インフルエンザワクチンビジネスで、ワンシーズン600万円稼ぐのです。大きな病院になると、何千万円になりますね。

■インフルエンザの語源

(ウィキペディアより)

インフルエンザ」の語は16世紀のイタリアで名付けられた。

当時は感染症が伝染性の病原体によつて起きるという概念が確立しておらず、何らかの原因で汚れた空気（瘴気、ミアズマ）によつて発生するという考え方が主流であった。

冬季になると毎年のように流行が発生し春を迎える頃になると終息することから当時の占星術師らは天体の運行や寒気などの影響によつて発生するものと考え、この流行性感冒の病名を、「影響」を意味するイタリア語 influenza と名付けた。

効くとか、効かないとかなんてどうでもよくて、ビジネスです。お金が動くのです。

では、ワクチンについて考えてみましょう。

インフルエンザウイルスというのは、どこから入ってきますか？ 風邪にかかったら、まず初め、どこにきますか？ 鼻ですね。鼻水が出ます。なので、一番最初にウイルスを撃退する鼻水に抗体ができないと意味がないのです。

ところがいまのワクチンは、血液中に抗体ができます。血液中に抗体ができるというのは、ウイルスが血液の中にまで侵入してきたらワクチンが効くということなので、最後の最後になるでしょう。

本当は体に入る前に効かせたいですね。かかってしまったあとに、もしかしたら、多少、血液にワクチンがあるので効くかもわからない、そんな程度では遅いのです。本来は鼻水にワクチンができるような手法を発明すべきなのです。

この語が18世紀にイギリスで流行した際に日常的語彙に持ち込まれ、世界的に使用されるようになった。

なお、日本語となっている「インフルエンザ」はイタリア語での読みと違い、イタリア語での読みは「インフルエンツァ」である。

最近テレビで、インフルエンザにかかっても、しゅつと粉末を口から吸収するだけで治るといふ薬ができました。

イナビルという薬ですが、これをうちの子供がインフルエンザにかかった時に病院でやって来ました。ぜんぜん効かないです。即効性があるとニュースでは言っていました。まったく効かないです。かえって熱が上がりました。

◆入れるのではなく捨てる発想が治療

というように、身体がおかしくなったらどうするか？普通は身体に何かを入れるという発想ですね。そのおかしくなったのを特別に治してくれるようなサプリメントとか、特別に治してくれるような食品とか薬とかグッズを買うといった行動にでます。

これは、占いでいえば開運グッズですね。特別な何かを身につ

※東洋医学では、実虚に対する治療は、補寫（ほしや）が基本です。補は補うことで、寫は捨てることです。

『虚』をただ足りないとして補おうとするのではなく、その根本に注目することが大切です。極まるとそれは反転します。『実』が極まり過ぎると『虚』にもなります。

ける、『入れる』という発想です。

しかし、もともとの中国医学はそうではないのです。おかしくなるのはあなたの生活に問題があります、生活習慣を見直しみましょうというのが、もともとの中国の医学なのです。

つまり『入れるのではなく、捨てる』のです。『新しいことを始めるのではなく、今やっていることをやめる』のです。

例えば酒をやめてみる、タバコをやめてみる、人間関係で我慢するのをやめてみる、仕事のしすぎをやめてみる、というように身体から『出す』のです。大便、小便、汗、出して出して、やめてみて、軽くする、というのがもともとの発想なのです。甘いものをやめてみる、チョコレートをやめてみる、人との付き合いをやめてみる、その結果ストレスが軽くなる、これこそが本当の開運法でしょう。特別なことを新しく身体に入れるのではなく、やり始めるのではなく、やめてみるのです。今までの習慣をやめて

捨てる
やめる

~~新しいことを
始める~~

みるのです。やめてみると開運法が勝手に見つかるのです。

ところが、ほとんどの場合、会社の経営者もそうなのですが、今までの考え方を捨てないのです。過去にこういう方法でうまく行ったからこれからもうまくいくはずだ、そういう前提を満足させる新しい開運法はないですか？という要求です。違うのです。過去のノウハウは成功しない時代に入ってきたのだからそれを捨てなさいということなのです。しかし、運の悪い人は捨てないのです。身につけてしまったものはもう通用しない、古臭いものだと分かっても、剥がすのはけっこう苦しいのです。だから今までの習慣をやめないのです。

◆『精・神・気』

四柱推命・養命法ですが、『精神・気』、この3つを良くしましょうという考え方です。

精というのは、腎・水です。

神というのは、心・火です。

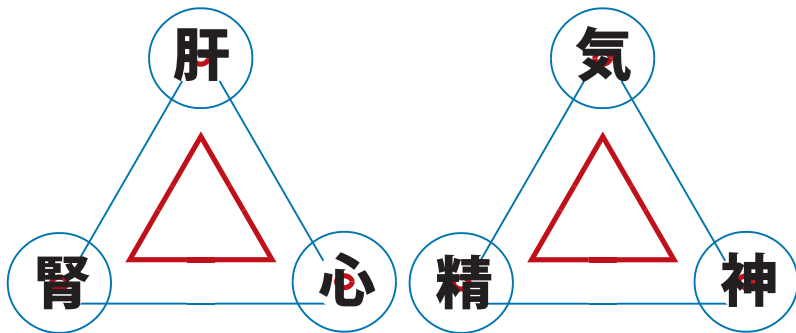
気というのは、肝・木です。

ここで注意しなければいけないのは、中国医学というのは臓器医学ではなく、気の医学だという点です。

精力を作る臓器を腎臓と命名したとしましょう。もし腎臓以外にも精を作る臓器があれば、それも腎臓というのです。

神、つまり自分の生き方を決定する臓器を心といいます。心臓です。おそらく人間の脳も、それに入るでしょう。心は火です。火は快楽を司ります。心臓、神というのは快楽を司るのです。

気というのは、食べたもの飲んだものを消化し、そして全身の



潤滑になる、これを氣といいます。

西洋と違って機能で役割を命名するのが東洋医学です。メスで切ってここの臓器が腎です、というのではないのです。腎の機能がもし足にあれば、足も腎になるのです。ツボの考え方ですね。

◆いかなる静止も運を下げる

芸海法ですが、原書にいい言葉がありました。いかなる静止もダメと書いてあります。

すべての五行は、伸びやかに動き、盛んに出入りしていること、

相手の育ち過ぎを抑えたり、相手を助けたり、衰退を防いだり、

そして自分も変化して、五行すべてがお互いに調整し合う。

ここでくりかえし原書の中でしつこく言っているのが、いかなる静止もダメなのだということ。具体的には固執です。いかなる固執もだめなのです。

例えば、2011年3月11日の大地震がありましたけど、東北で家を失った人たちが元の土地に帰りたい、新しい土地が嫌だと言ったら、これは静止なのです。固執なのです。

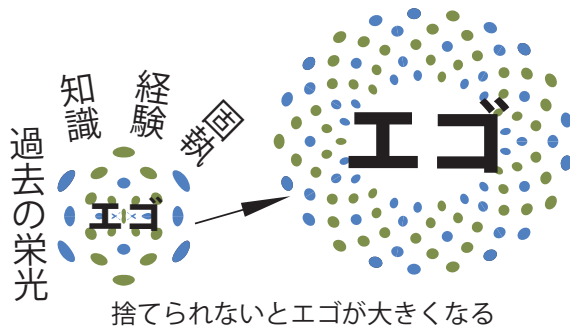
放射能に汚染されて家がない、高台にも建てられない、そういうことがわかったら新しいところに移るべきなのです。

ニュースやメディアでは、はこういった人達は報道されませんが、私の知人で、岩手県から北海道に移住して、新しいことをやっている60代の夫婦がいます。地元にはいたくないそうなのです。

この夫婦は土木会社を経営しているのですが、震災後、地元で社員を募集しても、誰も来ないのだそうです。仕事は震災復興のためにはたくさんあるのです。国からお金が出るので、仕事の心配はないのです。

ところが社員を募集しても来ないのは何故だろうと調べたら、仕事をしなくても国からお金がもらえるからだだったのです。

そういった現状に腹がたつてもうこの土地は嫌だ、こういう連中と一緒に住むのは嫌だと言って、北海道に移住してきました。これが固執しない、静止しないということなのです。



中小企業の経営者も、過去の栄光にこだわっている人は静止しているのです。過去2000万の給料をとっていたから、今も2000万の金が欲しい、どうしたらいいのでしょうか？そう聞かれたら、答えは簡単です。2000万を500万に下げなさい。1500万を、新しい事業に投資しなさい、捨てる覚悟で投資しなさい、なのです。

しかし運のない人は、そういったことをやらないのです。2000万という給料に固執しているのです。こういったことを知った上で、次は相談者に対する姿勢を考えて行きましよう。

※手に入れようとしないで、与えようとすると、悩みからは解放されません。持てば持つほど、物足りなさのスパイラルに入っていくます。「もっと、もっと」は、エゴが膨らむ一方です。

■相談者への姿勢

◆まず自分がやる

これは、自分自身に対する姿勢とも置き換えて考えてください。自分自身が経験していないと相談者には当然アドバイスできませんから。

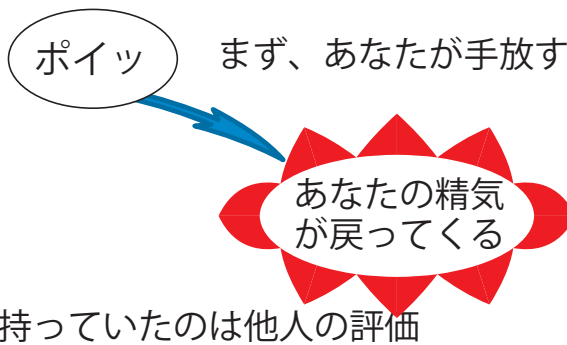
一番重要なことは、**新しい何かを取り入れるのはダメ。**

占い相談に来る人というのは、いろんな物を食べて食べて便が出ない便秘状態の人たちが来ます。そういう人達に対して、さらに食べなさいではダメなのです。何かを捨てなさいという気持ちで対応するのです。

あれやったらいい、これやったらいいではなくて、何かを捨てる。その何かというのは今まで**繰り返しやってきたこと**です。それをやめるのです。

これを言うと必ず反発してきますので、反発されるのを覚悟し

※繰り返しやってきたことを捨てる



てやってください。自分がどんどん古いものを捨てていくという生活をしていないと、相談者に言えません。いかなる固定化も許さない、そういう強い姿勢が必要です。固定化イコール死です。

◆相談者の魂に集中すれば捨てるものが見える

注目するのは相手の魂です。相手の持つている捨てるべきものは何かに集中します。おそらく周囲にいる人との縁を切る、周囲にある環境の何かを捨てる、あるいは繰り返しやってきた仕事を捨てる、マナーを捨てる、こういうことを、魂に集中して聞き出すのです。

何かを捨てなさいというと、反発されるのですが、それは恐れ

※固定化⇨死



『虚』の原因は、ほとんどが生活習慣にあります。それを捨てることから始めます。

があるからです。怖いのです。

恐れのは感情は五行で言うくと水です。水は腎です。

腎臓は何を作るかという、と、精気です。

精気とは何かという、と成長です。

どんどん変化していく成長、これは精気、精気を司るのが腎、

腎の感情は恐れ、五行で言うくと水。

このように腎が弱っている状態、腎が『虚』の状態でほとんどの人が相談に来ますから、恐れのは感情を抱いています。

「捨てなさい」、と言うと

「嫌だ怖いから」、必ずこうなります。

この状態をほっておくとどうなるか？

五行の水は木に流れます。木は肝臓です。肝臓の感情というのは、怒りです。怒りはどこから来るかという、自分の内側からです。『自分は、こうすべきだ』と、思っている、だけど行動に移せない』、思っていることが行動に移せないときに、怒りという感

※エネルギー＝精気

※精気とは、生まれたときにその人に与えられた最高の質のことです。

※運の上昇のコツは、簡単明瞭。

手放す勇氣があるかないかだけです。

情が湧いてくるのです。怒りという感情が湧いてくるのは、考えているだけで行動していかないからなのです。

◆腎が弱いと行動力がなくなる

なぜ行動できないか、腎が弱っているからです。この類の怒りは、あくまでも個人的範囲でグジグジ腹を立てていて、例えば、日本を変えてやろうといった大きなことには使われないのです。社会に対する、恨み妬みという怒りなので、ほっておくと精神病になります。

何故でしょうか？五行の水は木に流れ、木は火に流れます。火は魂です。これが『虚』になるのです。

怒りが湧いてきて木がきちんと発動しないと、火に流れないので、火が『虚』になります。神が死ぬのです。本人の魂が死ぬのです。

※問診で、色々質問すると同時に、相談者の顔色、表情、声の調子、動作、部屋に入ってくる時の様子、問い合わせの電話やメールが来た時の雰囲気など、すべてが隠れた『虚の原因』を見つける材料となります。

東洋医学では、問診の他に、聞診、望診、切診、腹診、脈診など、様々な診断方法を用いています。

だから精神病なのです。

うつ病が現代の日本に多いのは、どいつもこいつも恐れてばかりで行動しないからなのです。恐れてばかりで腎（水）が弱る、そうすると肝（木）も弱くなり怒りが湧いてくる、怒りが湧いてくると火も発動しない、火は精神なので、精神が病んでくるのです。

うつ病の人は、決して行動しません。行動するのを恐れています。本来は水剋火で、水は火をコントロールしなければいけないのに、腎が弱っているとコントロールできません。

◆相談者の魂と会話する

こういう五行の相生相剋関係を知って、相談者の本当の魂は一体何を求めているのだろうか、そういう気持ちで相手の魂と会話

私どうしたら
いいのでしょうか？



捨てなさい



それは
できません！

する、これがカウンセリングなのです。

相手の言っている表面的なことは聞き流して、その根っこにある魂に集中する、これがカウンセラーの本業なのです。一番大切な部分です。

言っていることをそのまま理論的に理解しようとするのではなく、魂の声に集中するのです。かならずその結果、何かを捨てなさいという結論になります。そして相手は嫌だという結果になります。そこにエネルギーを注ぐのです。やってみましょう。

◆そそのかしは罪である

注意点は、相談を受ける側が捨てる経験をしていないと、できないという点です。経験していないことをアドバイスすると、単なるそそのかしになってしまいます。自分が恐怖を越えてやってき

■五勞の損傷

*長く視ると血を損傷する

・血||心

・心||火

*長く寝ていると気を損傷する

・氣||肺

・肺||金

*長く座っていると肉を損傷する

・肉||脾

・脾||土

*長く立つていると骨を損傷する

・骨||腎

・腎||水

*長く歩くと筋を損傷する

・筋||肝

・肝||木

ていれば、自信を持って言えるのですが、そういう経験をしてきていないカウンセラーや占い師は、単なる理屈のみを学んで、相手をそのかすことになるのです。そのかすと、そのかした占い師やカウンセラーは、100%運が落ちます。なぜならば、そのかしは、一番、神が嫌うことなのです。

人類の一番最初の、アダムとエヴァの物語である、聖書の創世記があります。ここでは、アダムとエバをそのかした奴が蛇です。エヴァに美しい木の実、善悪を知る木の実を食べてみたらどうかとそのかしたのです。蛇は自分が経験してもいないことをそのかしたのです。そのかされたエヴァはそれを食べてしまって、人類の墮落が始まったと言われていますが、神様はそれを怒って、蛇も地獄に落ちると、サタン（悪魔）にならしめたのです。

そのぐらいそのかすという行為を神は嫌うのです。つまり自分が経験してきていないことをアドバイスするというのを、神は嫌うのです。

自分の魂に触れたことのない人は、相手の魂に触れることはできません。

■陰陽実虚

◆実と虚

相手の話を聞くときに、『陰・陽』と、『実・虚』、とに分けながら聞いていかなければなりません。いいとか、悪いで分類しながら聞くと誤りますので、相手の話の中で『実』はどこなのか、『虚』はどこなのか、そういう観点で聞いていきます。

『実』というのはエネルギーが大の状態です。
「虚」というのはエネルギーが小の状態です。

『実』というのは急性です。
『虚』というのは慢性です。

長年続く悩みがあり、いつまでもそれに悩まされているという

※東洋医学も西洋医学も絶対ではありません。科学的なデータに依存することなく、相談者の状態を、目で見て、耳で聞いて、話をして、体から発する温度を感じて、気や肉体に触れて、カウンセラー側が全体を感じながら相談者に対することが大切です。

ここで言う科学的なデータというのは、命式を決めつける古典的な鑑定方法を指しています。

のが『虚』です。

『実』は急性なので、いきなり事件が起きるようなものです。

『実』の人は活動性があります。

『虚』の人は沈降性があります。

『実』の人は未来志向です。

『虚』の人は過去思考です。

『実』の人はありすぎです。

『虚』の人は不足です。

このように分類していきます。

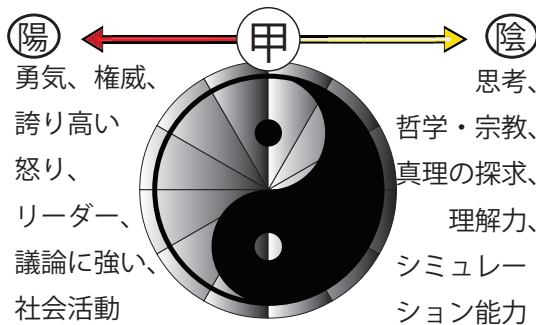
熱い	過剰	未来志向	活動性	突発性	急性	エネルギー大	実
冷たい	不足	過去思考	沈降性	継続性	慢性	エネルギー小	虚

◆陰と陽

『実』と『虚』に陰と陽を融合していきます。甲を例えに出すと、甲の象意を四つつくりまします。甲についての本を読んだり、甲の人の話を聞くときに、甲は頭がいい、プライドが高い、思考性がある、頭で考える、背筋が伸びているなど、ダラダラと覚えるのではなく、まず、『実の甲』と『虚の甲』とはなんだろうと考えます。さらに『陽の甲』と『陰の甲』は何だろうという発想をします。そうすると4つのパターンができます。

エネルギーが大きい、しかも陽でポジティブだとどうなるでしょうか？勇敢すぎる、怒りが大、これは例えば、本気で今の政治家がだらしなないから、国会議事堂に爆弾を仕掛けようといったもので、そういう人は、『私一体どうやって爆弾を仕掛けたいいのでしょうか』と、カウンセラーに相談しには来ないでしょう。

これが逆に『虚』になると、エネルギーが無いのでカッコだけ



のプライド、口だけ勇敢、口だけ勇ましいとなります。

甲の陰的な部分は、思考です。真理を求めているような文献を読みすぎる、それが『陰の実』です。本の読み過ぎなどです。これが『虚』になると、エネルギーが無いのだから本も読まない、考えない、コミュニケーション、言葉、思考というのが得意なのに、そういう甲の陰的な部分がない状況です。これが『陰の虚』です。

このように、十干の甲はどういう甲なのかを、四つのパターンでとらえるのです。相手の話が口先だけ立派なことを言うようだったら『陽の虚』、甲でありながら本も読まない、新聞も読まない、出てくる言葉が不鮮明だったら『陰の虚』となります。

くれぐれも、日干が甲だからという大衆占いをしないでください。どういう状態の甲なのかを、カウンセリングして診断してください。

考えすぎる	実 ↑	勇敢すぎる
思考	陰 ← 甲 → 陽	勇敢
本も読まない	↓ 虚	口だけ勇敢

目がありません。2009年（平成21年）2月のG7で、日本銀行総裁・白川方明と、財務官・篠原尚之との共同記者会見で、目が虚ろという状態であったが、同席していた白川方明と篠原尚之は、知らぬ顔をしていたことに注目すべきです。半年後、篠原尚之は国際通貨基金副専務理事に大出世したことを考えれば、真相は想像できるはずでず。

2011年の福島原発事故もそうです。津波が事故の原因のように報道されていて、津波対策ばかりが重視されていますが、それをそのまま信じる人は現実を見る目がありません。大地震の直後、津波に関係なくメルトダウンはすでに起こっていたことは明らかです。地震で原発が壊れるという報道をすると、この対策は無限にお金がかかります。しかし、津波対策というふうにすりかえると対策にはお金があまりかかりません。土木業者に壁を作らせばいいだけですから。

癌で死ぬ人が多いのですが、それで50歳を超えて癌検診などを受ける人は現実を見る目がありません。癌の治療の結果、猛毒を使われ、放射線を使われ手術をされ体力と免疫が低下して、治療の副作用で死ぬ人の割合が80%を超えているのが現実です。

癌が転移すると信じている人は、現実を見る目がありません。治療の副作用で免疫が落ちた結果、

もともとあつた癌細胞が大きくなっただけというのが現実です。

東大の法学部を頂点とする学問の世界も、クレイジーです。東大法学部卒の人は頭がいいと思つていたら、現実を見る能力がありません。所詮は、人間が作文した大量の文章を記憶するだけの大学生がなんで頭がいいのでしょうか？神が創造した宇宙や自然を相手に科学する理工系の学問のほうが、はるかに奥が深く頭が良くないといけないことは自明であります。

生活が安定しているから子供に公務員を勧める親も現実を見る目がありません。税金で飯を食つている連中がこのまま30年後も平安でいられると思つていのでしょうか。世の中の不満のエネルギーは、税金を食つている連中に向けられる時代になっています。

ここまで読者をあえて刺激するような内容を書いてきたのは意味があるのです。現実を見る能力がないということは、自分の性格や自分の心理も自分で診断する能力がないということなのです。つまり、自分の本心の声（魂の声）が聞けない状況にあると断言できるのです。

だから、そういう状況で占いを使うとどうなりますか？占いの結果は当たると感じると思いますが、か？当たると感じるわけではないのです。自分で自分のことを診断する能力がない人が、占いを使つて

当たると思うことはないのです。もし、当たると思う占いがあるのなら、それは占い文章をつくったライターが優れているからです。実際、占いビジネスはライターの技術で成功かどうかが決まります。

はつきり言って、自分で自分のことが診断できない状況では占いを使って当たるとか当たらないとかということ議論する段階にはないのです。ソフトから生成される占い文章を見て、当たったと言って感動してメールをしてくる人が多いのですが、間違いなく精神的にいかれている人です。筆者の占い文章作成技術は、占いビジネスの世界で磨き上げられた超一流のレベルですから、精神的にいかれた人が感動するような文章もソフトから生成できるメニューも用意してあるわけです。

逆に、ソフトから生成される占い文章を見て、当たらないとお怒りのメールをしてくる人もいますが、同様に間違いなく精神的にいかれている人です。自分の本心の声、魂の声を聞ける人は、絶対に占いに関心を持ちませんから。そういう観点から、精神的にいかれた人とは、電話でも話したくないのでフォーチュンソフトは電話サポートを行っておりません。

占いを学習するなら、今まで気がつかなかった新しい自分を発見する道具として使ったほうが実用

的で害がありません。または、さんざん行動をしてきて、これ以上努力することができないと観念した人は、結果を整理して生き方を変えろという目的で占いを使うなら、それはすばらしい使い方です。なにかをやる前に占いで見てみようなんていう使い方は、精神異常者の予備軍が好む使い方です。

生まれてから今までの間、親から、先生から、上司から、友人から、TVから、雑誌から、いろいろな不正確な情報を吸収して現在の脳の回路ができあがっています。だから、脳の回路そのものが、洗脳されていて間違っているのです。脳の回路が間違っているから、悩みが発生し、問題が起こってもそれを解決できないのです。生まれてから何十年もかかって蓄積された間違った脳の回路を溶かさない、開運できません。

今までの思考の癖を溶かすこと、これが本書の一番の目的です。だから、すべての原書を否定します。すべての今までの占いの考え方、占いの流派を否定します。無色透明の脳の回路にするためにあえてそういう手法を使っていることをご容赦ください。

こういう考え方で占いスクールを開校したり、コンサルタントビジネスを展開する人をフォーチュンソフトグループはとことん支援していきます。

天野 雲海

▲ 目次 ▼

*はじめに・・・1

（第一章）

養命法と芸海法

- 養命法と芸海法・・・13
- ◆五術・・・14
- ◆四柱推命による養命と芸海とは？・・・16
- ◆命式が死んでいる・・・17
- ◆生きている人・死んでいる人・・・18
- ◆エネルギーの『実・虚』・・・19
- ◆インフルエンザワクチンビジネス・・・21
- ◆入れるのではなく捨てる発想が治療・・・23

- ◆『精・神・気』・・・26
- ◆いかなる静止も運を下げる・・・27

■相談者への姿勢・・・30

- ◆まず自分がやる・・・30
- ◆相談者の魂に集中すれば捨てるものが見える・・・31
- ◆賢が弱いと行動力がなくなる・・・33
- ◆相談者の魂と会話する・・・34
- ◆そのかしは罪である・・・35

■陰陽実虚・・・37

- ◆実と虚・・・37
- ◆陰と陽・・・39

（第二章）

吉凶思想の欠点

■吉凶思想の欠点・・・41

- ◆なんでも数値化することはいいことなのか?・・・42
- ◆数値化すると現実にはマッチしなくなる例・・・44
- ◆想定外に弱いデータ信仰・・・46
- ◆生活習慣を見直す・・・47

■医学と金融工学・・・49

- ◆金融工学の落とし穴・・・49
- ◆イレギュラーに強い発想・・・50
- ◆数値で吉凶を決めると?・・・52
- ◆恒常性とは・・・55
- ◆数値は洗脳の道具・・・57
- ◆正常値を指さない・・・59
- ◆習慣に変化をつける・・・60
- ◆運のいい人は邪に耐性がある・・・61
- ◆吉凶互根・・・63
- ◆吉体質に変える・・・64

（第三章）

中医学と五行

■中医学の五行・・・67

- ◆西洋医学はトップダウン・・・68
- ◆東洋医学は役割分担・・・70
- ◆相生・相剋・・・73
- ◆感情にも五行がある・・・75
- ◆感情のクセは五行で分かる・・・78
- ◆進化している中医学の五行・・・81
- ◆アトピー性皮膚炎の事例・・・83
- ◆病気の原因を探る道具として五行を使う・・・86
- ◆親子関係とアトピー・・・87
- ◆恐ろしいステロイド剤・・・88
- ◆通変星の相生相剋・・・90
- ◆教科書に書いていない通変星の深い解釈・・・93

（第四章）

絶望の運命学からの転換

- 絶望の運命学からの転換・・・97
- ◆絶望の医学・・・98
- ◆希望の医学・・・100
- ◆西洋医学と東洋医学の違い・・・102
- ◆理と気・・・105
- ◆絶望の運命学・・・106
- ◆教科書通りの十二運星は意味がない・・・110
- ◆五行と東洋医学の事例・・・111
- ◆本治と標治・・・114
- ◆食事のとり方・・・115
- ◆希望の運命学へ進化するためには？・・・119
- ◆罪悪感が運命を狂わせる・・・120
- ◆偽りの優しさ・・・122
- ◆怒ると今までの人間関係を失ってしまう恐怖・・・124
- ◆大切なものを捨てる勇氣・・・125

（第五章）

通変星の象意

- 通変星の象意・・・127
- ◆比肩の象意・・・128
 - *甲と甲・・・129
 - *丙・丙・・・132
 - *戊・戊・・・134
 - *庚・庚・・・136
 - *壬・壬・・・138
- ◆劫財の象意・・・140
 - *甲・乙・・・140
 - *丙・丁・・・143
 - *戊・己・・・145
 - *庚・辛・・・147
 - *壬・癸・・・149
- ◆食神の象意・・・152
 - *甲・丙・・・152
 - *丙・戊・・・154
 - *戊・庚・・・157
 - *乙・乙・・・131
 - *丁・丁・・・133
 - *己・己・・・135
 - *辛・辛・・・137
 - *癸・癸・・・139
 - *乙・甲・・・141
 - *丁・丙・・・144
 - *己・戊・・・146
 - *辛・庚・・・148
 - *癸・壬・・・151
 - *乙・丁・・・153
 - *丁・己・・・156
 - *己・辛・・・158

*庚・壬……………159	*辛・癸……………160
*壬・甲……………161	*癸・乙……………162
◆傷官の象意……………165	
*甲・丁……………165	*乙・丙……………166
*丙・己……………167	*丁・戊……………168
*戊・辛……………169	*己・庚……………170
*庚・癸……………171	*辛・壬……………172
*壬・乙……………173	*癸・甲……………174
◆偏財の象意……………175	
*甲・戊……………176	*乙・己……………178
*丙・庚……………179	*丁・辛……………180
*戊・壬……………181	*己・癸……………182
*庚・甲……………184	*辛・乙……………185
*壬・丙……………186	*癸・丁……………187
◆正財の象意……………189	
*甲・己……………189	*乙・戊……………190
*丙・辛……………191	*丁・庚……………192
*戊・癸……………194	*己・壬……………195
*庚・乙……………196	*辛・甲……………197
*壬・丁……………198	*癸・丙……………199
◆偏官の象意……………202	
*甲・庚……………202	*乙・辛……………203

*丙・壬……………204	*丁・癸……………205
*戊・甲……………207	*己・乙……………208
*庚・丙……………209	*辛・丁……………210
*壬・戊……………211	*癸・己……………212
◆正官の象意……………214	
*甲・辛……………214	*乙・庚……………216
*丙・癸……………217	*丁・壬……………218
*戊・乙……………219	*己・甲……………220
*庚・丁……………221	*辛・丙……………222
*壬・己……………223	*癸・戊……………224
◆偏印の象意……………225	
*甲・壬……………225	*乙・癸……………226
*丙・甲……………227	*丁・乙……………228
*戊・丙……………229	*己・丁……………230
*庚・戊……………231	*辛・己……………232
*壬・庚……………233	*癸・辛……………234
◆印綬の象意……………237	
*甲・癸……………237	*乙・壬……………238
*丙・乙……………239	*丁・甲……………240
*戊・丁……………242	*己・丙……………243
*庚・己……………244	*辛・戊……………245
*壬・辛……………246	*癸・庚……………247

第六章

十干を陰陽・実虚で理解する

■十干の『陰陽・実虚』・・・249

◆甲	252
◆乙	258
◆丙	266
◆丁	272
◆戊	278
◆己	282
◆庚	287
◆辛	292
◆壬	297
◆癸	302

第七章

通変星を

陰陽・実虚で理解する

■通変星の『陰陽・実虚』・・・307

◆比肩	308
◆劫財	314
◆食神	320
◆傷官	325
◆偏財	331
◆正財	336
◆偏官	342
◆正官	348
◆偏印	354
◆印綬	359

（第八章）

十二運星を

陰陽・実虚で理解する

- 十二運星を実と虚で理解する・・・365
- ◆長生【今、最高に役に立ちたい】・・・368
- ◆沐浴【結果に悔いを残さない】・・・370
- ◆冠帯【最先端をいく】・・・372
- ◆建禄【完璧でなければならぬ】 374
- ◆帝旺【成せばなる】・・・376
- ◆衰【信じるな、疑うな、確かめよ】・・・378
- ◆病【すべては理想社会実現のために】・・・380
- ◆死【不言実行】・・・382
- ◆墓【華より絆】・・・384
- ◆絶【自由に羽ばたくべき】・・・386
- ◆胎【己の信じる道を歩むべし】・・・388
- ◆養【愛より尊いものはない】・・・390

■すべて自分の責任で発動させる・・・392

（第九章）

未来予知は必要か？

■未来予知は必要？・・・395

（第十章）

実用運命学のまとめ

■実用運命学のまとめ・・・403

- ◆ 相性理論は使えるか? . . . 405
- ◆ 適性理論は使えるか? . . . 408
- ◆ 六親理論は使えるか? . . . 410
- ◆ 年運と月運は使えるか? 410
- ◆ 身旺・身弱理論は使えるか? . . . 413
- ◆ 月令理論は使えるか? . . . 415
- 結論 . . . 418
- ◆ 芸海法の真髓 . . . 418
- ◆ 気の滞りは死に至る . . . 419
- ◆ 開運をさまざまにあげる3つの問題点 . . . 423
- ◆ 乗馬で開運 . . . 427
- 五行の色体表 . . . 436
- 六十干支表 . . . 437

（ 四柱推命資料 ）

-
- ◆ 木タイプ . . . 440
 - ◆ 火タイプ . . . 441
 - ◆ 土タイプ . . . 442
 - ◆ 金タイプ . . . 443
 - ◆ 水タイプ . . . 444
 - 納音五行 . . . 445
 - 六十干支の特徴を詳しく解説 . . . 449
 - 十二運星の導き出し方 . . . 480
 - 陽干日生まれの男命の六親 . . . 482
 - 陰干日生まれの男命の六親 . . . 483
 - 陽干日生まれの女命の六親 . . . 484
 - 陰干日生まれの女命の六親 . . . 485
 - * おわりに . . . 487

第二章

吉凶思想の欠点



■吉凶思想の欠点

◆なんでも数値化することはいいことなのか？

運命学を勉強すると、必ず吉凶を決めることに関心を持ってしまいますが、果たして吉凶を決めるということは一体どういうことなのか、おわかりでしょうか？

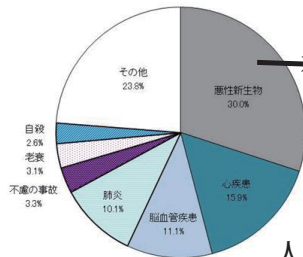
良い悪いで考えてみると、西洋医学で、「あなたは病気で」、「あなたは健康です」と分けるのと同じです。

西洋医学は、病気だと判断するために検査します。この検査は必ず数値というデータで判断されます。ある一定の数値より上はダメ、ある一定の数値より下もダメ、と範囲が決まっています。

■日本の死因

平成 20 年厚生労働省人口動態統計より

図6 主な死因別死亡数の割合(平成20年)



死因トップ
悪性新生物

癌のこと

定期健康診断や
人間ドックは必要？

※早期発見して、手術をしたり抗癌剤を投与することが本当に治療になっているのだろうか？

これが西洋医学の特徴です。

例えば体温は何度以上、何度以下、血圧もいくつ以上、いくつ以下、血糖値もいくつ以上、いくつ以下と範囲が決まっています。

そしてホルモンの量も測定して範囲が決まっています。心臓の心電図も、脳波もこうでなければならぬという基準があります。そしてどんな医学が発展してMRIといった機械で身体全体をスキャンして癌があるか無いか、数値で決めます。最近ではDNAの並びで癌になりやすいかかなりにくいかなども決めますね。これらはすべて数値で示されています。

ところが、数値が異常で病気だと判断されても、実際の生活に支障がなく健康な人もたくさんいます。

逆にあなたの数値は正常だとしても、頭が痛い、ここが痛いあそこが痛い、調子が悪いといって病気を訴える不健康な人もたくさんいるわけです。

■ 大きなお世話の、がん予防10か条

*ウィキペディアより一部抜粋しています。

* **肥満**…BMIは21〜23の範囲に。

* **運動**…毎日少なくとも30分の運動

* **体重を増やすす飲食物**…高エネルギーの食べものや砂糖入り飲料やフルーツジュース、ファーストフードの摂取を制限する。

* **植物性食品**…600gの野菜や果物、25gの食物繊維を摂取するための精白されていない穀物である全粒穀物と豆を食べる。毎日400g以上の野菜や果物、全粒穀物と豆を食べる。精白された穀物などを制限する。

* **アルコール** 男性は1日2杯、女性は1日1杯まで。

* **保存、調理**…塩分摂取量を1日に5g以下に。塩辛い食べものを避ける。塩分摂取量を1日に6g以下に。

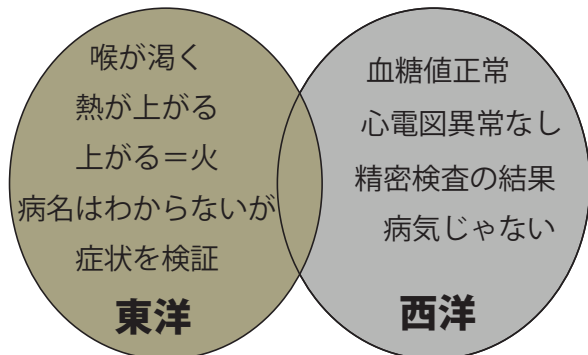
このようにイレギュラーになった場合には、西洋医学の対応は処置なしなのです。数値のデータで示されている以上、たとえ患者の訴えがあったとしても、あなたは病気ではありません、いくら身体は健康だと言いはっても、数値で病気だと示されている以上、あなたは病気に違いありません、という判断が、吉と凶を決定する西洋医学の検査なのです。

◆数値化すると

現実にはマッチしなくなる例

数値化するというのは、科学的にみますが、これには罣があります。

私の例で言えば、私は今から4〜5年前、夜中に異様に喉が渴



※どちらも否定せずに融合させるのがベストです。

いて、何度も何度も水を飲むようになったことがあります。水を飲むから、今度は何度も何度もトイレにいけます。飲んでも渴きが治らないのです。夏も冬も関係なくそうでした。

そこで病院に行つて精密検査をしました。血液や血糖値、心電図いろんなことをやりました。結果、数値は正常です、あなたは病気ではありません、何もする必要はありませんと医者に言われたのです。しかし喉が渴いて夜中に何度も水を飲むのだから、どうもないということはないのです。こうなつた場合に西洋医学は処置なしなのです。

最近では、うつ病を判定できる検査法がありますが、この検査法を学習すれば誰でもうつ病になれて、医者が診断書を書いてくれるのが社会問題になっています。

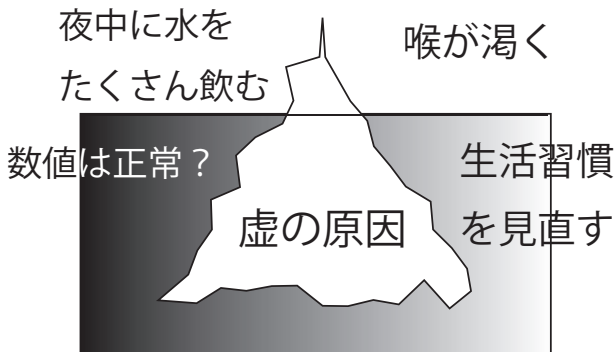
※尿の働きには、身体の熱を調整する役割もあります。もし排尿が不十分で、尿が膀胱にたくさんたまると、身体の熱が膀胱に奪われて冷えてきます。冷えやすい身体をそれ以上冷やさないように一日に何度もトイレに行くこともあります。

◆想定外に弱いデータ信仰

いわゆる吉と凶を出す発想の欠点は、想定外に弱いのです。想定外のこと起きた場合に弱いのです。

ところが実際問題、健康問題もそうですが、運命ということに関しても、人生は想定外のことばかりなのです。想定内のことなんてないのです。

結婚する前から離婚なんて考える人いないでしょう。結婚する前から妻が浮気したらどうしよう、そんなことを想定して結婚する人がいますでしょうか？いないでしょう。想定外に弱いというのが、吉凶の発想の欠点です。



◆生活習慣を見直す

そこで、私は考えました。西洋医学でダメなら、東洋医学で自分の身体を診断してみようと考えたのです。自分で自分の身体を問診したのです。というのは、必ず生活に原因があるだろうと思っただからです。病気の原因は生活習慣にあるのです。だから夜中のどろが渴くのです。

運命も同じです。生活習慣そのものに、考え方、行動の仕方にも問題があるから運が悪くなるのです。

のどが渴くというのは、熱が上に上がっているのです。気が上に上がっているのです。上がるというのは火の作用です。火とは神（しん）です。つまり、スピリチュアル的な仕事のし過ぎなのです。

私のミッションというのは、今までの明治から続いてきた四柱推命とか、古い業界の革新です。吉と凶を決めつけて、開運したいのなら印鑑を買いなさい、ツボを買いなさい、そういういったレ

喉の渴きが収まった

虚の原因

生活習慣
を見直した

ベルの低い占いを、一段階発展させた状態に持っていく革命を起さなければいけないというのが、自分のミッションだと思っています。

ですから、今までの四柱推命の理屈、論理を全て新しいものに組み変えないといけないのです。24時間、毎日毎日考えているのです。例えば、原書に書かれている『用神』とはいったいなんだろう、どんな意味があるのだろう、体神とは一体何だろう、なぜ『体』なのだろう。原書に書かれている格局、なぜ『格』なのだろう、五行の強弱とは一体何か、これを数値化することの意味は何だろう、そんなことを毎日毎日考えていると、気が頭に昇っていくのです。

気が頭に昇っていくということは、熱がどんどん上がっていくのでのが渴くのです。そこで一生懸命水を飲むのですが、水というのは下に下がっていくものです。頭にたまらないで下がるので、おしっこが出るのです。

そこで、気をなるべく上に上げないように、昼間はスポーツするとか肉体を動かすように生活を変えていったのです。変えていったことで、徐々に徐々に、良くなってきているのです。

今、北海道に移住して牧場の仕事をやっていますが、実はこういった対処も考えてのことなのです。夜中に何度も喉が渴いて起きる。水を飲まないといけない。生活習慣を変えなさいという身体のメッセージなのです。だったらそれに従うしかないでしょう。

数値化するのが科学的だと思っていたら、その発想は運を間違えなく下げます。

■医学と金融工学

◆金融工学の落とし穴

医学と運命学というのは、とても関連が深いのですが、医学と金融工学的な考え方も共通点が多くあります。

例えば利回りです。1年間で3%の利回りがありますよと、さんざん宣伝して営業しているのがワンルームマンションです。

ワンルームマンションをたくさん持っている人を、私は何人か知っているのですが、みんな売りたいがっているのです。管理が大変だからです。ワンルームマンションを借りてもらおうための工夫が大変なのです。更に家賃を払わない人も多いので、その対応も大変なのです。

利回りを盛んに扱うのが金融工学ですね。

■金融工学とは？

(ウイキペディアより)

金融経済学や数理ファイナンスを理論的バックグラウンドとして持ち、金融機関が事業活動を通じて取り扱う様々なリスクを計測し、適切に管理することを目的として発展した。

金融工学には複雑なテクニクがあつて、プットオプションとか、コールオプションなどですが、こういうテクニクの天才と言われていたのが、実は、ニュースで話題になったA I J投資顧問なのです。投資顧問の間では、天才的な運用だと評判でしたが、実際はただの詐欺師でした。A I J投資顧問の公表する数値に、頭のいい人達が集まっている上場企業がだまされたのです。

※実際にアメリカの投資銀行で使用されているシステムを開発したのは、旧ソ連の宇宙工学のシステムエンジニア達でした。宇宙でどんなトラブルに遭遇しても無事に地球に生還できるあらゆるケースを想定して開発したのが旧ソ連の宇宙工学でした。これに着目したアメリカの金融の経営者達は、天変地異や戦争や大暴落があつたとしても必ず利益を出せるシステムを開発させたのでした。

■ A I J 投資顧問

運送会社や建設会社、電気工事会社など中小企業の厚生年金基金の運用を主力としており、2011年9月末時点で、124の企業年金から1984億円の資産の運用を受託していた。アドバンテストや安川電機など大企業の企業年金も顧客としていた。

*年金資産消失問題の概要

同社は、顧客に対し、240%の運用利回りを確保していると説明してきたが、2012年1月下旬の証券取引等監視委員会の検査により、運用資産の大部分が消失していることが明らかとなった。

◆イレギュラーに強い発想

数値というのは、想定外のことには弱いのです。リーマンショックも、誰も予想していなかったですね。吉と凶で決める、数値で決める、こういう発想をしている以上、全財産を失います。

こんな金融工学など一切無視して、本当に賢い人というのはリーマンショックの時に何をやったのでしょうか。

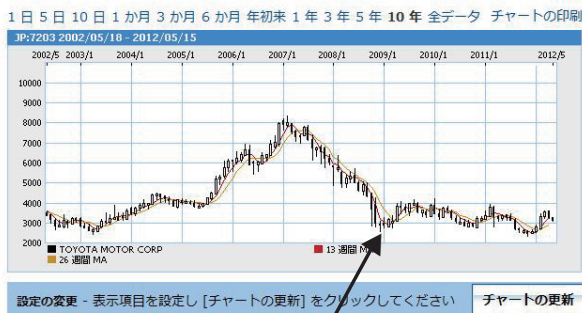
当時、日本で一番売れていた車がハイブリッドカーのプリウスだったのです。カローラよりも一番売れた車がプリウスだという時が、リーマンショックの頃にあったのです。そのトヨタが、売られまくって株価が2700円ぐらいに下がりました。

この時、本当に賢い人というのは、直感で一番売れている車を作るメーカーの株が下がった、だったら買う、チャンスだと単純でシンプルな発想なのです。

数値は、使いません。2012年、トヨタ株は3600円ぐらゐまで上がって来ました。ハイブリッドカーの世界ナンバー1で

■トヨタ株価の推移

(2002年5月～2012年5月)



リーマン・ショック

※リーマン・ショックは2008年9月

あるトヨタは、もつと上がりますよ。こういうのが東洋的な発想なのです。

東洋的な発想というのはイレギュラーに強いのです。数値を使わない発想というのは、イレギュラーに強いのです。

◆数値で吉凶を決めると？

次に、数値を使って吉凶を決める、古典的な四柱推命を紹介してみよう。古典的な四柱推命はみんなそうですが、必ず五行の強弱の計算方法が書いています。流派によって違いはありますが、だいたいの共通点があります。

四柱推命なので、生まれた年、生まれた月、生まれた日、生まれた時間というのがまずあります。

■五行計算の流派

*泰山流

生まれた季節である月支五行を重視し、天干と地支の総合点を出す。

*透派

天干五行を重視し、天干に出ない五行は地支にあつたとしても数えない。

例えば（天干は五行で表示しています。）

時柱	日柱	月柱	年柱	天干	地支
金	水	木	火		
子	丑	寅	卯		

とあつたとします。そして、

『子』というのは『壬』と『癸』の蔵干を含みますから、五行の水の根つこです。

『丑』というのは、『癸』と『己』なので、五行の水と土の根つこです。

『寅』というのは、『甲』なので、五行の木の根つこです。

『卯』というのは、『甲』と『乙』なので、五行の木の根つこになります。

天干	地支
----	----

■十二支の根

十二支	根	蔵干
亥	水木	壬
戌	金火土	辛戊
酉	金	庚辛
申	金水	庚
未	火木土	丁己
午	火	丙丁
巳	金火	丙
辰	木水土	乙戊
卯	木	甲乙
寅	木火	甲
丑	水金土	癸己
子	水	壬癸

※蔵干は、透派を使いました。

年柱	火	卯(乙・甲)
月柱	木	寅(甲)
日柱	水	丑(癸・己)
時柱	金	子(壬・癸)

この命式の五行計算をしてみましよう。

年柱	火	卯(乙・甲)	■天干数値×地支数値
月柱	木	寅(甲)	木 1 × (2×2)
日柱	水	丑(癸・己)	火 1 × なし
時柱	金	子(壬・癸)	土 0 × 1
			金 1 × なし
			水 1 × 2

※木は月令を得ているので倍

この点数を見て、一番強い五行が木です。この強い五行を弱める五行が吉です。木を弱めるのは、金です。なので、金が吉です。その金を生じるのは、土です。ですから、喜神は、土と金です。

年柱	火×	天干
月柱	木×	地支
日柱	水×	子
時柱	金○	子
		社会運凶
		家庭運凶
		運勢なし
		子供運吉

■合計
 木 4 × 忌神
 火 1 × 忌神
 土 0 ○ 喜神
 金 1 ○ 喜神
 水 2 × 忌神

それ以外が、忌神で、水・木・火です。

年柱は、社会運です。火なので、忌む五行のため社会運は凶です。

月柱は家庭運です。家庭運は木なので忌む五行のため、家庭運は凶です。

日柱は、我です。我は水なので忌む五行のため、我の運は凶です。

時柱は、子孫です。子孫は喜ぶ五行なので運があります。吉です。

いいのは時柱だけです、となります。

これが古典的な四柱推命です。こういうのはもう卒業しないと
いけないです。ある一定の数値を決めて、それより上が吉で下が
凶、という発想自体がダメなのです。

※五行計算は透派を採用していま
す。透派は、天干に出していない五
行は、0点となります。

◆恒常性とは

この吉と凶を分ける発想の根っこにあるものは、恒常性です。

恒常性という健康な値があつて、常に健康でありなさいという発想があるのですが、この恒常性とは一体何でしょうか？

常に、内部が変化しているために一定に保たれる、ということなのです。

例えば人間の肌も、一見、一定のように見えますが、常に中身が変化しているのです。変化しているからこそ一定のように見えるのです。常に変化していないとダメなのだということなのです。老舗で有名なラーメン屋も、毎年味が時代に合わせて変化しているからこそ、ずっと人気があるのです。

自分には運がないと思つている人は、その思いが間違つていません。困難や課題をさつさと越えていく気力と能力がないだけです。だからいつまでも変化しません。

※人はこの世に生を受けてから、一日たりとも同じ状態の時はありません。刻一刻と変化しています。

運のある人は、困難や課題をさっさと越えていく気力と能力があるのです。だからどんどん変化・・・しているのです。

◆数値は洗脳の道具

次に、吉と凶を決めることによって発生する罨があります。

今の世の中というのは、みんな数値化されています。それで良い悪いが決められています。これも罨です。イレギュラーに弱いのです。罨・・・というのは洗脳のことです。

それでは、ある一定の数値から外れたらどうなるでしょうか？

体温が一定の数値から外れて、いつも37.2度ある人が、医者に行ったら異常だと言われた、血糖値がいつも平均値よりも高い、医者に行ったらおかしいと言われた。

※占いの洗脳事例

人生に迷いが生じ、占いに関心を持つ。

←
占いで未来を予知してもらい、成功のための人生計画を立てる。

←
新しいことをやりたくなっても大殺界などで占いの通りガマンする。

←
新しいことを始めてもいい時期になると、何をしたらいいのかわからなくなっている。

←
自分から何かやろうという気力が低下してくる。

数値を外れたら、数値を元に戻さなければいけないというストレスになっていくのです。さらに、数値そのものが間違っていたら、致命的になってしまうのです。

そうではなくて、変化に対応して、過去を振り返ったらその結果ある基準値になっていた、こういうほうが本当なのです。基準値を目指すのではなくて、変化に対応してやって行くほうがいいのです。

投資などまさにこれです。最初から利回り3%、5%、10%ということを狙っていると、だいたい失敗するのです。

そうではなく、変化に対応するのです。リーマンショックでガーンと下がったのなら、日本で一番売れている車の会社、トヨタの株も下がった、じゃあ買っておこう。そして2〜3年経って、大震災でまたガーンと下がった。じゃあ、また買おうということですよ。

← 自分で何も考えられなくなる。

← 自分の人生ではなく占いに依存した人生を生きるようになる。

← 占い通りにすれば、誰よりも幸せな人生を歩むはずなのに、周りの友人のほうが幸せに見える。

← 占いに頼る前より劣等感が強くなる。

← 違う占い師のところについてみる。

← まったく違う結果を告げられ、愕然とする。

←

はつきり言って、世の中の大部分の人の反応とは逆の反応をする人だけが、投資で財をつくれます。四柱推命の財星など不要です。

◆ 正常値を目指さない

地震があっても、何があっても、地球上には100億人もの人がいて、みんな便利な生活をしたいと思っっているのです。いい家に住みたい、いい車に乗りたいという欲求は増えるばかりでしょう。どんどん欲求というのは増えていくのだから、やがて工場の設備が復活したら景気が良くなるはずだ、世界的に見てグローバル企業の株は上がるはずだということで、みんなが投げ売りしている時に、また買うのです。このように変化に対応するのです。

変化に対応した結果、過去5年間振り返ってみると利回りが

また別な占い師をたずねる。

← 先祖霊がついていると言われる。

← 除霊など高額で依頼する。

← お金も心も仕事も人間関係も愛も、すべて吸い取られる。

5%になった、というように、数値を目指さなければ、イレギュラーや変化に対応できるのです。

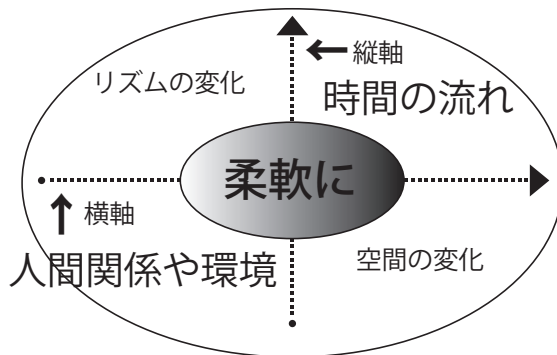
世界中を数値ではなく、人の心情、気持ちという観点から観察してみてください。ほとんどの人が洗脳されていることに驚くはずです。ここに気がつくようになったら、もうあなたも成功者の仲間入りです。

◆習慣に変化をつける

変化に対応するということは、生活環境でも注意しなければいけないことがあります。

それは、

いつも同じ仕事のやり方をしてはいけません。



いつも同じ食事のとり方をしてはいけません。

変化を付けなければいけないのです。

いつも同じようなお店に行ってもよくないのです。

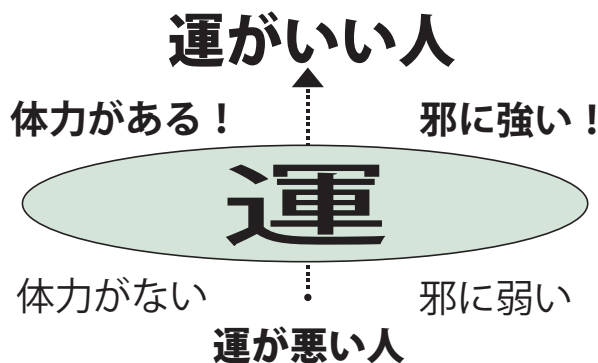
食事のカロリー計算をしてもよくないのです。

変化のない家においてもダメなのです。

同じ音楽を聞いていてもダメなのです。

生活というのは毎日毎日変わっているので、**習慣に変化をつける**のです。

毎日毎日同じことをやって、同じ仕事をして、同じ食事をとって、同じ音楽を聞いて、同じお店に行つて、同じ人と話をして、こういうのが原因になって生活習慣病というのができてしまうのです。そこに本当の病気の根本原因があります。生活習慣を変えてみるのです。



◆運のいい人は邪に耐性がある

運の良い人と、運の悪い人の違いがあります。

運の良い人、運の悪い人は、

健康な人と健康じゃない人とまったく同じなのです。

肉体の強い人、弱い人とまったく同じなのです。

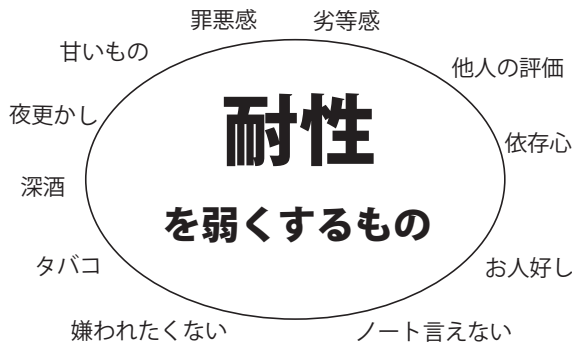
邪に強い人が運の良い人、

邪に弱い人が運の悪い人なのです。

例えば、風邪のウイルスが鼻から入ってきた。ウイルスを追い出す免疫力の強い人は風邪を引きません。

ところが風邪のウイルスが入ってきた時、免疫力が弱くてそのウイルスが内蔵にまで入ってきて、風邪がひどくなった、これは邪に弱い人なのです。

困難なこと、大変なことに遭遇したとしても、免疫力のある人、強い耐性を持っている人は、困難を乗り越えていくのです。もっと言えば、困難を困難とも思っていないでしょう。



同じ事象にあっても、耐性のない人、免疫力のない人は、たいしたこともないトラブルを困難として受け止めて、どんどん運が下がっていくのです。この違いが重要です。

◆ 吉凶互根

中国の古典の運命学にいい言葉があります。

『吉凶互根』

運の良い人も悪い人も、出来事は同じです。

同じような出来事はやってくるのです。

運の良い人に吉の出来事ばかり来るわけじゃないのです。

運の悪い人に凶の出来事ばかり来るわけじゃないのです。

吉凶互根



本人の反応が
吉凶を決める

吉でも凶でもない

運の良い人も、運の悪い人も、やってくる出来事が同じでも、その人の頭脳と肉体を通過して出てくると、変化しているのです。運の良い人には吉として出てきて、運の悪い人には凶として出てくるのです。

運の悪い人は、吉が来ても凶になる、運の良い人は、凶が来ても吉になるのです。耐性があるから、免疫力があるからなのです。

◆吉体質に変える

何が言いたいかというと、占いを、吉体質に変える道具として使えということです。**あなた自身の考え方を変えましょう、あなた自身の行動の仕方を変えましょう、あなた自身の脳の使い方を変えましょう、ここさえ乗り越えれば、吉がやってきても凶がやってきても、出てくるのは、みんな吉になるといいうことです。**

※カウンセリングをしていてよく聞く言葉に、「これをやめればいいんですよね、わかっているんですけどね・・・」というのがあります。また逆に「これをやればいいんですよね。わかっているんですよ・・・」というのがあります。

どちらかというと、やらなければいけないのにやっていない、そう自覚している人のほうが多くいます。これは、何かを取り入れようとしている姿です。

そのとき、なぜわかっているのにできないのか？を考えると、やらなければいけないことはひとつではなく、たくさんある場合がとても多いのです。

つまり、何を優先的にやるのか

だんだん吉になってくると、やがてやってくるものも、吉が多くなってくるのです。凶が減ってくるのです。身体中のすべての細胞が吉体質になってくるといことです。あなたという存在そのものを変えていけば、波動が変わり、どんなことが起こっても吉になるのです。

しかし、凶体質の人は、どんな吉のことがやってきても、悩んで凶になってしまおうのです。

変えるための第一歩は、今までの習慣を捨てるという作業なのです。新しいものを取り入れるのではなく、**今までの生活習慣を捨てる**のです。

運命学を使って、当たるか当たらないか、吉か凶かという発想はやめましょう。存在そのものを変えて、楽しい人生を送ればいいのです。楽しい人生を送るためにはお金が必要でしょう、素敵な恋人も欲しいでしょう、じゃあ作ればいいのです。

がわからなくなつて混乱してしま
す。

優先順位がつけられない、その
最大の原因は、たくさんのことを
取り入れようとしすぎているとこ
ろにあります。

優先順位をつけるポイントは、
することをひとつに絞り込むこと
です。絞り込むには、他を捨てる
勇気が必要です。じゃあ、どれを
捨てればいいのか？ どれを捨て
ても変わりありません。その後の
自分の一生懸命さがすべての結果
を出してきます。

「あの時捨てなければよかった」
は、精一杯やらなかった時に思う
ことで、何を捨てたかは大した問
題ではありません。

どうやったら？

何度も言いますが、**存在そのものを変える**のです。

存在そのものを変えるのは、今までの繰り返しやってきたことを捨てるのです。

癖になっっているものを

捨てれば変わっていくのです。

◆進化している中医学の五行

五行の相生相剋ですが、四柱推命の本に書かれている相生相剋の理論は、ちよつと浅いのです。

水が木を生じて、

木が火を生じて、

火が土を生じて、

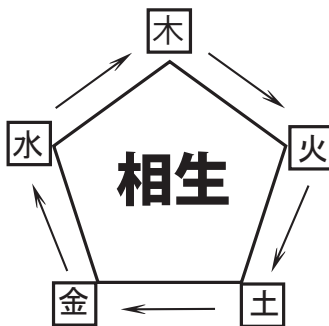
土が金を生じて、

金が水を生じるといふ

「木・火・土・金・水」の流れが相生です。

水が火を剋して、

火が金を剋して、



金が木を剋して、
木が土を剋して、
土が水を剋す、
これが剋です、という程度です。

同じだと比肩・劫財
生じると食神・傷官、
剋すると財星、
剋されると官星、
生じられると印星、
というようにすべての本に買っています。

中国医学も五行を使います。しかし、こちらのほうがはるかに実践的なのです。



◆アトピー性皮膚炎の事例

ここでは、アトピー性皮膚炎の事例をとって、漢方医がどうやってアトピーを診断するのかを説明してみましよう。

***まず水です。**

水は腎です。骨とか耳と関係があります。また、成長を司りますので、腎が衰えると成長不良になります。

腎は水を温め、身体が使える水の状態にして、全身に送り出します。水処理の能力があるということです。精力の元です。

***次に木です。**

木は肝臓、胆のうです。これは血をためる造血作用と、疏泄ソセツといつて、なめらかにスムーズに体に気を流す役目をします。木が欠落すると、全体に影響しやすいのです。

例えば、肺がスムーズでなければ咳が出ます。木が弱まり元気が無いと、肺が弱まり、胃腸も弱まり、心臓も弱まり、腎臓も弱

■アトピー性皮膚炎について

(ウィキペディアより)

アトピー性皮膚炎とは、アレルギー反応と関連があるもののうち皮膚の炎症(湿疹など)を伴うもので過敏症の一種。

アトピーという名前は「場所が不特定」という意味のギリシャ語「アトポス」(atopos、不特定、topos=場所)から由来し、1923年コカ(Coca)という学者が「遺伝的素因を持った人に現れる即時型アレルギーに基づく病気」に対して名づけた。

まります。全てに影響してきます。

***火は心臓・小腸**です。人の舌で漢方医は判断します。**上に昇る**という状態があります、これが火です。逆に下にいくのは水です。年寄りで足がむくむというのは、水が下に溜まっていることをさします。

***土は消化吸収**です。**胃と脾**ですが、脾臓は水を肺まで上昇させる役目があります。

***土は金を生じます。金は肺と大腸**です。喘息を治そうと思つたら便秘を治しなさい。便秘を治すと、肺も治るし肌も治ると言うように流れます。

アトピーは、皮膚炎として肌に出ることから、この金の病気に属します。雨の日に、よりアトピーがひどくなるとした場合、雨

※どんなに優秀な治療方法を持つてしても、相談者本人が、それを受け入れる態勢になっていなければ、効き目はありません。

氣の流れが滞っていると、受け入れる態勢にはなりにくくなります。氣を押し出して流れを作るより、抜いて流れを作ったほうがスムーズに流れます。抜くとは、捨てることです。

は水です。水は腎です。腎が弱っていると見たほうがいいのです。

小学校の子供で、同級生と比べて、明らかに、成長が遅い、体重が少ない、背が低い、伸びていないとなると、成長が悪いので、精がないとして、腎が弱っているとなります。腎系が弱っているので気が流れないです。だからアトピーになるのです。この場合は、腎を強化します。

金の元になるのが土です。土の胃と脾が弱っていると、消化吸収がうまくできないので、金にうまく流れない。そして、肌から老廃物が出て、アトピーになるのです。

そういう場合は、胃や脾の消化能力を高めるといふ処方をする。

※大人になってからアトピーが発症したり、顔だけアトピーになる人がいますが、アトピーになるその原因の一つに、子供の頃の育った環境の影響が強くなります。子供時代の両親の不仲、愛情不足、親の気を引こうとしてよい子を演じていた人が多くいます。

愛情に対する渴望感は、本人も気づかないほど無意識のところには追いやられて潜伏しています。よい子、いい人を演じなくても、愛は失われないということ、ありのままのいいのだということ、後天的に学習していく必要があります。

◆病氣の原因を探る道具として五行を使う

う

同じアトピーでも、原因が消化吸収（土）にあるのであれば、胃と脾を強める処方を行います。腎（水）が弱まって成長がかんばしくないという場合は、腎を強化する薬を処方します。もちろん金は肺・大腸の病気で、アトピーも金の病気なので、肺と大腸を強化する、あるいは、肺を強化する薬を処方することもあります。一方、火は金をコントロールします。火が弱っていると金をコントロールできません。コントロールできないがゆえに、金がおかしくなっているということもあります。

火とは神（しん）ですね。つまり、火が弱いとは精神状態が良くないということです。では、精神状態が良くない原因とは？それを次に説明します。

※表面に出ている症状だけを治療すればいいのではなく、それを覆っている、目に見えない気の元を治していかなければなりません。

全体と根元に意識を向け、症状を追いかけるのではなく、根元に迫るカウンセリングやアドバイスを目指したいものです。

◆親子関係とアトピー

では、なぜ火が金をコントロールできないのか？

火の病気は何でしょう？火は心です。ハートです。

とくに子供の場合多いのが、親との関係がうまくいっていない、これがストレスとなり心と小腸が弱っていることがよくあります。だから火は、うまく金をコントロールできなくてアトピーになっているのです。こういう場合は、親との関係をまず直さないと、アトピーは治らないのです。

よく東京の子供たちが、アトピーがひどいからといって、田舎の学校に山村留学する例がありますが、一人で山村留学すると治っちゃうのです。ところが親と一緒に山村留学すると治らないのです。

北海道にも山村留学している子供たちがたくさんいますが、親と一緒に子供は治らないのです。それは原因が火、ハートにあるのです。

■山村留学

北海道十勝の山村留学

山村留学（自然体験留学）とは、心豊かにたくましく生きる子どもを育てるために、自然に恵まれ、豊かな人間関係が保たれている鹿追町の農山村との交流による様々な自然・勤労体験活動を通じて、子どもに知識のみならず、自然の美しさや厳しさに触れ、感動を覚えるとともに、思いやり・自主性・協調性・忍耐力等の豊かな心を育てる、直接体験を重視した留学制度です。

<http://www.shikaoui-study.jp/service/>

全身に気がスムーズに流れていない場合は、木の葉を処方します。

◆恐ろしいステロイド剤

アトピーは、西洋医学では、肌の病気としてステロイド剤を塗っておしまいです。

ステロイド剤とは、肌の層があり、その下に肉とか筋肉とかがあるとする、肌と肉とのコミュニケーションをカットするというのがステロイド剤なのです。肌と筋肉や血とのつながりを一時的に遮断するから、肌が良くなったように見えるだけなのです。

ところが一時的に症状を押さえ込んでいただけなので、薬の効果がなくなると、またアトピーは発症します。くさいものにフタをしているだけなので、押さえ込めば押さえこむほど、アトピー

■ステロイド剤の後遺症

(ウイキペディアより)

ステロイド皮膚症（ステロイドひふしょう）とは、ステロイド外用薬を長期に渡って使用し続けることよって起こるとされる一群の副作用が現れた皮膚の症状名。主として外用剤において問題となるが、まれに内服、皮下注射においても全身性の皮膚萎縮などを

の根は深くなつてしまします。

もし排泄が原因だとしたら、しっかりと排泄されないから、代わりに皮膚に出てきているので、肌の表面だけ一時的によくしても、治らないです。

アトピーひとつとっても、金で治す方法、水で治す方法、土で治す方法、火で治す方法、木で治す方法、5種類の処方があるのが東洋の考え方です。これらを普通は組み合わせます。例えば、土・金・水を混ぜて処方するなどです。親との問題が原因なら、火の薬の処方も加えるなど、処方の仕方が個人個人によってみんな違うのです。

アトピーだから、こんなふうにしませうという、決まりきつたマニュアル的な発想はありません。**とても柔軟で応用が効くのが五行の理論**なのです。

きたす症例が存在する。

ステロイド皮膚症は、古くは一般的な（古典的）副作用のみを指す語として、一般の皮膚科医が用いることもあったが、近年では、中止にともないリバウンドを生じるような皮膚の状態を特に指して用いられるようになった。

一般的な皮膚科医が用いることは少なく、アトピー性皮膚炎に関する代替医療業者や、その患者の間では広く用いられている言葉でもある。

◆通変星の相生相剋

もう一つ、五行の相生相剋で、本に書いていない、非常に重要な方法がありますので、それをご紹介します。

五行の相生相剋は、結局、通変星となって使われます。

比肩・劫財は、行動力、競争力。

食神・傷官は表現力、才能発揮。

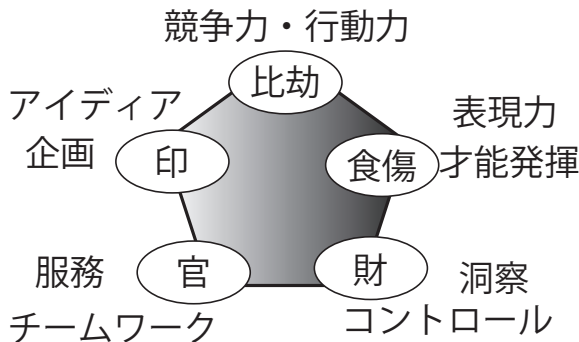
財星は、コントロール能力、マナー。

官星は、人に従う能力、折目正しい能力。

印星は、企画アイデア、
となっています。

普通は、印星は食神・傷官を剋し、比肩・劫財は、財星を剋し、食神・傷官は、官星を剋し、財星は印星を剋し、官星は、比肩・劫財を剋すといえます。

この意味は、比肩・劫財のように、自分ばかりがむしやりに



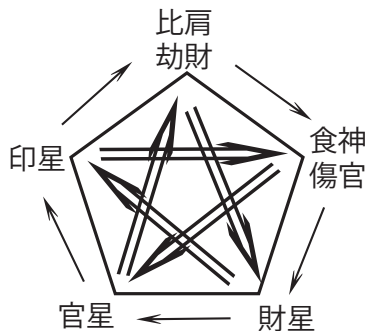
やって失敗する人は、官星のように、目上の言うことを聞きなさいということなのです。

食神・傷官で、自分勝手にオレは才能があるのだとしゃばってやっていく人は、印星のアイデアとか企画とか、上手に甘える能力を使いなさいということなのです。

財星は、計画してそのとおり実行する、やり過ぎると無味乾燥な人になってしまうので、やる気があるのなら、比肩・劫財のように考えないでやってみたら、ということなのです。

官星というのは、目上に従う、エライ人に従うという能力ですが、従ってばかりではストレスが溜まってしまいます。だったら自分をガンガン押し出していく食神・傷官も使いなさい。

そして、印星は企画、アイデア、甘え、自分では実行しない、そのかすことがあるので、そうではなくてガンガン自分で計画して、ガンガン自分でやっていく財星を使いなさい、というのが四柱推命の理論です。



ところが、これはちゃんと五行が働いているという前提があつてのことなのです。四柱推命の命式にある木火土金水が、みんな活発に働いている状態だと、それでいいのです。

しかし占い相談に来る人は、五行がきちんとして働いていない状態です。そういう人は、今言つた象意とはぜんぜん違う象意が出てしまうのです。

例えば、甲の横に甲という比肩があつたとしても、甲が死んでいゝるゾンビ人間で、社会が悪い、上司が悪いと文句ばかり言つていゝる比肩の人が来ると、比肩だから独立できますよ、などと言つてはいけないのです。甲という星が死んでいゝるのだから。

※甲と甲の古典的解釈

この並びを『ソウモウセイリン双木成林』といいます。古典では、大樹と大樹が並んで美しい林を形成している状態で、お互いに助け合う良い並びとされています。比肩の長所が出やすい干関係です。

◆教科書に書いていない

通変星の深い解釈

比肩・劫財が死んでしまうと、さらに比肩・劫財を剋す官星が働き出すのです。命式にない、官星が働き出すのです。そうすると、人の言いなりでいいじゃない、となってしまうのです。

食傷を持っている人が来た。でも食傷が死んでいる場合、甲の横に丁がある傷官だとします。これは『木火通命（もつかつうめい）』^{モツカツウメイ}といって、非常に鋭い頭を持ち、才能だけで食べていける、切れ味鋭い頭脳を持った人なのです。

ところが、それがまったく生かさず、才能がわかってもらえません、才能を生かしてもらえません、と文句ばかり言って、しかもプライドだけは一人前という人が来た場合、食傷は死んでいるのです。

そして印星が不健全に作用し、甘え、依頼心、こんないい企画

※甲と丁の古典的解釈

この並びを『木火通命』^{モツカツウメイ}といいます。古典では、大樹が火の燃料となって燃え続ける状態で、非常に頭のいい切れ味の鋭い頭脳を持ち主となります。

持っているのにだれも自分を用いようとはしない、となってしまうのです。

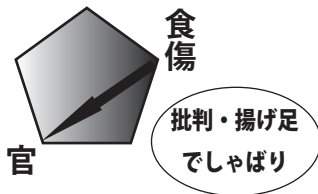
少し難しいですが、一步レベルの高い通変星の解釈です。

財星を持つている人が来ました。財星は、計画して実行する人ですが、財星が死んでいると、まったく計画しないし、まったく実行しないとなってしまうわけです。無計画ということは、比肩・劫財ですね。財星が死ぬと、まったく無計画に動いてしまうのです。

それでは、官星はどうでしょうか。官星というのは、折り目正しくエライ人に従うという能力です。その官星が死ぬと、人の言いなり、嫌々ながら言いなりになるのだから、食神・傷官のように、人の揚げ足をとって批判ばかりしている人になってしまいます。

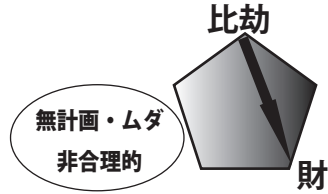
《官星が虚》

食傷のマイナス面が
押し寄せる



《財星が虚》

比劫のマイナス面が
押し寄せる



印星は、アイディアがあつて、発想力が豊かでそれを企画して楽しいという人生を送るのが得意な人です。その印星が死んでしまうと、無味乾燥な財星の、相手を支配したい、権力、支配欲だけが強くなつてしまいます。

食神・傷官だから才能がある、財星だから商売がうまい・お金が儲かる、官星だからサラリーマンがいい、印星だからアイディアや企画力がある、比肩・劫財だから独立がいい、という市販の本に書いてある発想はダメなのです。

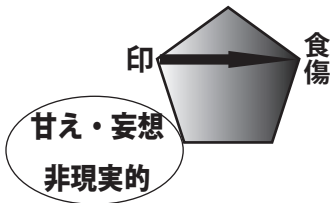
比肩・劫財らしい人か、食神・傷官らしい人か、財星らしい人か、官星らしい人か、印星らしい人か、かならず問診して決めてください。そうじゃないなと思つたら、星が死んでいます。

星が死ぬとどうなるのかといえば、

比肩・劫財がありながら人の言うなりです。

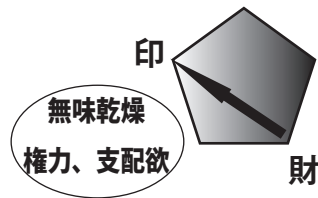
《食傷が虚》

印星のマイナス面が
押し寄せる



《印星が虚》

財星のマイナス面が
押し寄せる



食神・傷官がありながら、単なる甘えだけです。

財星がありながら、無計画です。

官星がありながら、目上を非難ばかりしています。

印星がありながら、楽しくない無味乾燥の支配欲にまみれています。

このように、実際の人をみて、五行が生きているのか、十干が生きているのか、通変星が生きているのか、問診で判断してください。

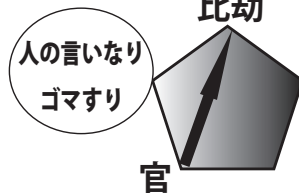
カウンセリングもしないで、生年月日のデータから計算して、五行が生きているか？十干が生きているか？を知りたい気持ちがありますか？

もしそういう気持ちがあるのなら、間違いなくあなたの脳は汚染されて、不健康な状態です。人との信頼関係を作れない脳の状態です。

《比劫が虚》

官星のマイナス面が
押し寄せる

比劫



第三章

中医学の五行



■中医学の五行

◆西洋医学はトップダウン

中国医学の五行の相生相剋、これの反対の言葉が、西洋式のトップダウンです。**相生相剋**というのは、極めて**東洋的**な発想です。**トップダウン**というのは、極めて**西洋的**な発想です。

西洋医学の基本はトップダウンです。人間の体の臓器もトップダウンでコントロールされているはずだという思想に基づいて作られているのが西洋医学です。ですから、臓器は脳からコントロールされているという発想があるのです。脳の一番下の方についているのが脳下垂体です。この脳下垂体が、臓器をコントロールするというのが西洋医学です。

■トップダウンとは？（ウィキペディアより）

組織の長（社長など）または、その立場にある命令に従い、人が動く形式をいう

・長所…上からの命令が絶対なので、物事が決まるのが早い（下の意見を聞かない）。

・短所…上に立つものの見識が広くなければ、没落する。

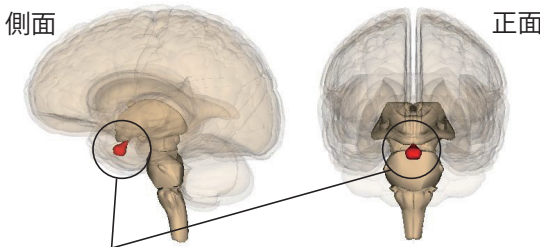
実際脳下垂体からは、いろんなホルモンが出ています。ホルモンが臓器をコントロールする物質として発見されています。西洋医学は物質が発見されないと科学にならないという発想ですから、必ずこういう物質が特定されています。

例えば成長ホルモンです。赤ちゃんが大きくなって、大人に成長していくホルモンですが、これも脳下垂体から出ます。そして、乳汁、分泌ホルモンも、脳下垂体から命令が出て、おっぱいが出ます。

副腎皮質ホルモン、これも脳下垂体からの命令です。

甲状腺ホルモンも、甲状腺を刺激して甲状腺のホルモンを出す命令をするのは、脳下垂体です。膀胱を刺激して、抗利尿、これも脳下垂体です。

■脳下垂体
脳下垂体(ウィキペディアより) 多くのホルモンを分泌する内分泌器官。



脳の直下(腹側)に存在し、脳の一部がのびてぶら下がっているように見える

◆東洋医学は役割分担

一方で、中国医学という東洋の思想は、肝臓とか腎臓とか心臓という言葉を使い、肝は木、腎は水、としています。これは肝臓そのもの、腎臓そのもの、心臓そのものではなくて、**役目の名称**です。

***木というのは、肝**です。肝臓が中心ですが、機能は血の貯蔵です。肝臓以外に血を貯蔵するところがあれば、それも肝になるのです。もうひとつは、**気の疏泄**です。スムーズに全身に気を巡らせる機能が肝です。気をスムーズにする、これはすなわち、情緒の調整なのです。情緒の調整がうまく肝臓でいかなければどうなるでしょうか？イライラや怒りに変わります。だから四柱推命で言う木行、甲・乙は、感情でいうと怒りとなるのです。

このように、四柱推命の根っこにある五行推命というのは、医学から発展しているので、人の運命とか、人の命とか占う場合も、

※もともと東洋医学では、『臟腑』ではなく、『藏府』と言われていました。最近ではその区別はあまりなくなってきたようですが、『臟腑』は、西洋医学の具体的な臓器の実態のことを指します。東洋医学は、気の医学でもあるので、『藏府』といい、肉体を表す月偏がつきません。『藏府』の中に、『臟腑』が含まれると考えます。

『藏』が陰、

『府』が陽となります。

・疏泄とは、気血の流れを円滑にする働きのこと。

医学的な思想をベースにして占い直すというのが今回のテーマなのです。

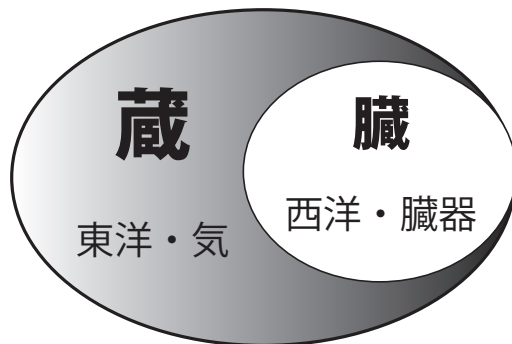
吉とか凶とか言わないですよ、凶だからあなたは病気が治りませんというのは医学じゃないでしょう。

***火というのは心です。**心というのは心臓ですが、役目は血の配分、血の生成です。心臓と小腸は同じ経絡です。血を生成するのは、心臓小腸ですから、もし骨髄で血を生成したりするのであれば、それも心と呼んでいいのです。役目の名称なわけですから。

***土は胃と脾です。**消化吸収する作用。すなわち、血とか気の内容を作ります。

***金は、肺と大腸です。**

便秘気味の人は肺も悪いのです。便秘気味の人で皮膚が荒れている人、皮膚に吹き出物が出る人、これが改善されると喘息も治つ



てしまうということがよくあります。

消化吸收したものを大腸に流します。大腸に流れなかった場合、たまって肥満になります。

汗は皮膚に出ます。水分の拡散は、肺で行います。この水分というのは、H₂Oではなく、腎臓によつてろ過された、身体が使える水です。全身に気を含んだ水分を、肺の呼吸によつて巡らすという役目です。

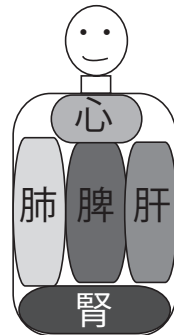
肺ですから鼻も金です。風邪のウイルスは鼻から入ってきます。なので金の強い人は風邪にかかりにくいのです。金の強い人は消化も強いです。消化の強い人は火も強い、心臓も強い、小腸も強い、血をいっぱい作れる、となつていくのです。

***水というのは、腎です。**腎臓、膀胱、骨。役目は精の貯蔵、すなわち、生命力です。成長力です。これは腎です。

成長する元は何かというと金です。水の元は金。金は何かという、庚も辛もそうですが、行動です。吸った吐いたと呼吸を促

腹部区分図

心=火
肺=金
脾=土
肝=木
腎=水



すのは行動です。とにかく動くのです。動いて動いて動いた時に初めて成長があるのです。行動しないと成長しません、変化しません、ということなのです。

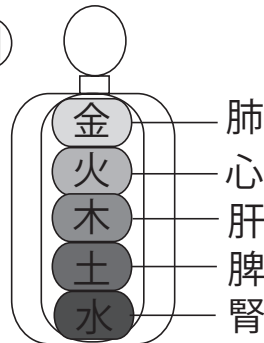
◆相生・相剋

精のエネルギーがないと、イライラ、怒りが湧いてきます。そして、本来であるならば五行の金剋木で、金が木をコントロールしますね、何をコントロールするかというと、イライラ怒り、情緒面のコントロールということになるのですが、これは金がきちんとしていないとコントロールできません。

金がきちんと動くということは、肺と大腸がきちんと機能しているということです、肺と大腸がきちんと機能しているということは、行動しているということです。

背部区分図

背部の五行領域は、このようになっています。



すなわち、**行動無くしては情緒の調整はできません**、ということなのです。行動しないでグジグジしている人は、怒りもイライラもどんどん増してきます。

これを何というかというと、うつ病と言うのです。『甲・乙』は、うつ病や精神的病の人が多くいます。もともと木は、情緒を調整する肝の作用です。だからイライラ怒りが起きるのですが、これは金のコントロールができていないで、行動せずに考えてばかりいるからなのです。

木は、魂

火は、神

土は、意志

金は、魄（パク）

水は、精

水（精）と火（神）で、精神になります

考え方を変えない人、成長しない人はイライラがたまり、怒りつ

■東洋医学の治療の流れ

・心虚…木—火—金—水

・脾虚…火—土—水—木

・腎虚…金—水—火—土

・肝虚…水—木—土—金

・肺虚…土—金—木—火

ぽくなります。そういう人は火を生成できません。自分の中から神がいなくなってしまうのです。行動もしません。生命力がなくなります。ゾンビ人間です。

◆感情にも五行がある

肉体も精神も、統合して考えるのが中国医学の五行です。カウんセリングでは、感情五行を使います。つまり、実際にカウんセリングをする際に、その人がどんな感情を持っているかということを観察してください。その時その人に木行が働いているのか、火行が働いているのか、水行が働いているのか、それがよくわかります。

***木は怒り、イライラです。**

■伊達政宗の壁書

*仁にすぐれば弱くなる。

*義にすぐれば、固くなる。

*礼にすぐれば、へつらいとなる。

*智にすぐれば、嘘をつく。

*信にすぐれば、損をする。

仁(木)

義(金)

礼(火)

智(水)

信(土)

これは思い通りにならない。『思い通り』というのは、考えてはいるのです。考えるのは木の仕事です。その考えたとおりにならないので怒りが発生するのです。

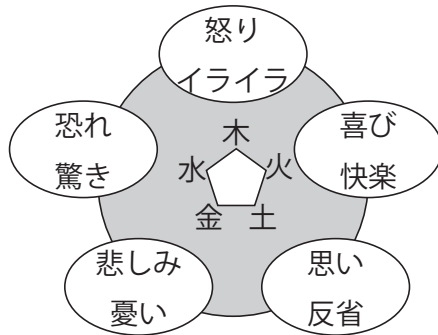
***火は喜びです。** 火は心、快樂です。

***土は情緒です。**

情緒とは好き嫌いこそ全てということです。戊も己も情緒的です。好きになつたら命がけ、というようになりますので、そこに親分肌という資質がでてくるのです。親分肌というのは、理屈を越えた大きさですから、つまり理屈を越えた好き嫌いで判断する、理はどうでもいいのです。

***金は悲しみです。**

冷淡な冷たい感じですが。金は損得で合理的に行動します。だから悲しいのです。



***水は恐れです。**

なぜ恐れるのでしょうか？水は先を読みます、時代の先を読みます。先を読むから恐れのお感情が發生するのです。先を読まない人は恐れのお感情は發生しないです。

言葉で思考するのが、大リーガーで言えば松井、損得で行動するのがイチロー。

恐れは、喜びを剋します。喜んでばかり快樂ばかりだと、水がコントロールします。

喜びは悲しみを剋します。コントロールします。悲しんでばかり、損得ばかり考えている、そんな時は、火の喜びのコントロールが必要なのです。

怒ってばかり（木）だと、損得勘定の金がコントロールします。好き嫌い（土）ばかり考えていると、木の思考がコントロールします。

■感情五行の状態

- ・木の怒りは、腹を立てて人に当たり散らします。
- ・火の喜びは、気が緩み躁状態になります。
- ・土の思い悩む様子は、気が固まって動かない状態になります。
- ・金の悲しみは心が引きちぎられるように嘆き悲しみます。
- ・水の恐れ驚く感情は、恐れが気が沈んだ状態、驚きは気の乱れた状態を表します。

先のことを心配して恐れる感情（水）は、好きになつたら命がけの土がコントロールします。

◆感情のクセは五行で分かる

感情の五行は、カウンセリングで使える便利な手法です。ですから、相談者がどういう気持ちをも根底に持っているのかということを考えてください。

相談者が怒りを持っているのであれば、木性がきちんと機能していないのです。木が病んでいるのです。木性の病気は何から来るのかというと、水の恐れなのです。

私が取引している会社の社長も、いつも怒っています。誰に対して怒っているかというと、従業員とか取引会社とか下請けに対

■季節と感情五行

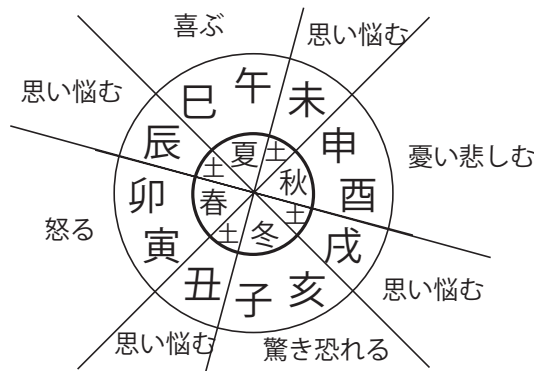
- ・春は木で、怒気が旺盛になります。
- ・夏は火で、喜びの気が旺盛になります。
- ・秋は金で、悲しみ、憂いの気が旺盛になります。
- ・冬は水で、驚き、恐れのが旺盛になります。
- ・土用は土で、思い悩みの気が旺盛になります。

して怒っているのです。しかしその根っこを探してみると、恐れなのです。

もう十二分に成功して、お金も持っている60代の男性なのですが、今までの年収2000万ぐらいは確保したい、今までの高級車に乗っている生活を維持したい、これを失うのが怖い、という恐れが根底にあるから、怒りに変化するのです。その恐れを生むのは損得勘定です。今までの収入を確保したい、という損得勘定です。

その社長は優しいふりができます。本当は優しく無いですよ、怒りをためていますから。ただ女性にそういう姿は見せないで、女性にモテるのです。お金も持っています。カウンセリングでは、ここをうまく利用します。

恐れを剋するには、好き嫌いという感情を自分の中に芽生えさせるような女性と付き合えばいいのです。



その社長には実は、奥さん以外に付き合っている女性がいるのですが、あまりいい彼女ができないのです。社長の持っているお金が目当ての女性ばかりです。一緒に旅行に行きましょう、ここにいきましよう、このホテルの泊まりましよう、このコース料理を食べましよう、全部女性が設定して、お金を出すのは男性。そういうパラサイト女性が多いのです。

— そうじゃなくて、本当に好きなんだという、体当たりしてくるような女性を見つけて、好きとは何だろうという感情が自分の中に沸き上がってくる、そうすると恐れが消えます。そういう感情に命をかける女性と付き合うのがいいのです。

※愛のある結びつきには、未来の約束も何の保証もありません。

第四章

絶望の運命学 からの転換



■絶望の運命学からの転換

◆絶望の医学

今までの運命学というのは、実は絶望の運命学なのです。これを希望の運命学に転換しなければいけないというのが私のミッションです。

運命学と医学というのはとても関係が深いのですが、医学の業界でも、実は絶望の医学といわれているものがあります。それは西洋医学なのです。

なぜでしょうか？最初に病院に行ったら検査しますね。しっかりとした数値で検査結果がデータとして出ます。必ずデータが出されるのです。その数値を見てから医者らは病名を決定します。

病名のない病気というのは、西洋の場合ありえませんが。

病名を決定すると、決まりきった治療法がありますのでそれを

■難病について

「難病」と言われる中で、厚生労働省が実施する難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究分野の対象に指定された疾患は2009年現在、130疾患あるそうです。

これは、特定疾患と言われるもので、原因が不明であったり、有効な治療法がないが医療費の一部を公費から助成してもらえるものです。

難病情報センターという厚生労働省から補助を受けて作成しているホームページには、月に120万件もの問い合わせがあるそうです。

適用します。ところが、病名はついても、**治療法がないものも**あります。ないものはどうするか？治りません。正確には**治せません**、となるのです。ですから西洋医学は**絶望の医学**といえます。

私の知り合いで、急性の白血病になった女性がいます。白血球と血小板が極端に減って、身体がだるくなって熱が出て、病院行ったら精密検査をされました。結果、白血球と血小板が異常に少ないことがわかり、病名は白血病と診断されます。

ちゃんとした血を作れない状態なのです。それなら、ちゃんとした血を作るようにすればいいのに、西洋医学にはそういった治療法はないのです。

ではどうするか？対処療法で他人の血液をもらって、どんどん血小板と白血球を輸血するだけです。他人の血をもらって自分の血液の中に入れて、他人の血小板と他人の白血球で何とか誤魔化すだけなのです。しかも、免疫力が低下しますので、無菌室といっ

■西洋医学でみる白血病の原因

*先天的

ファンコニー貧血

ダウン症候群

ブルーーム症候群など

*後天的

放射線

化学物質（ベンゼン、トルエン等）

薬剤（抗がん剤）

ウイルス（HTLV-1、EBウイルス等）

てビニールの部屋に入って、一步も外に出られないという生活を送っています。

これを治療と言えるでしょうか。ちゃんとした血を作れないのに、治すとは言えないでしょう。血を製造する能力が低下しているのを治せないから、他人のモノを持つてくるというだけでしよう。

◆希望の医学

これが東洋医学だと、血を作ることを考えます。造血、血を作ったりするのは、肝・胆（木）です。そして心（火）です。木と火です。

東洋の医学の場合には、かならず問診をします。

その人の生活、その人の考え方、その人の家庭環境、その人の仕事、詳しく聞いていきます。まるでカウンセラーです。

※東洋医学では、『データや数値は実践に如かず』という思想が根本にあります。どんなに立派な理論を学んでも、その真意は実践している者にしか分からないということです。

しかし今日では、西洋的な科学的なデータに基づいた判断がなされなければ、信用されない世の中になってしまっています。

私は、この白血病になった女性は、将来かならず何かの病気になるかと予想していました。というのは、会うと、いつも異常に元気なのです、不自然に元気です。

実はこの女性は、本当のお父さん、お母さんじゃない人に育てられたのです。まだ20代の若い女性ですが、遠く300キロ離れた本当のお父さんのところに、毎週、土日になると通ってきて、仕事の手伝いをしているのです。20代の若い女性が、週末、車で4時間も5時間もかけて、都会から人口二千人の田舎まで通ってきているのです。

その本当の父親も、何も言わないし、本人も何も言わないのですが、小さい頃からの付き合いだ、小さい頃からの知り合いだというように、他人には言っているのです。子供だとも言わないし、お父さんとも言わないのです。何か変なのです。顔見れば似ていますから一発でわかります。

※科学的データの分析や蓄積によつて、様々な病気が解決できるという目標を持っているのが西洋医学です。なので、臓器を切り取ったり、クローン人間のように、人さえも創ろうとしています。

逆に東洋思想では、生命そのものが自然と一体化して生きていることを基本としています。例えば臓器についても、単独で存在している臓器はなく、すべてつながっていると考えます。ありのままの精気の恒常的流れのなかで、治療がすすめられるのが東洋医学です。

こうやって、他人に本当のことを言わないで、昔からの付き合いだとうソをついているのですから、肝（木）に負担がかかるのです。ストレスでイライラがつのつてくるのです。そしてウソをついているので、心（火）にも負担がかかり、心が病んできます。育ての親がちゃんとしているのに毎週通ってくるのは、心の中に闇があるのです。そこで血液を身体中に回すことができなくなつて白血病です。

◆西洋医学と東洋医学の違い

おそらく漢方医だと、その人の抱えている生活の中の一歩暗いところに踏み込んで、人間関係を紐解いて、そこから治していくということも考えるでしょう。

ところが、西洋医学はまったくそういうことはしません。

※占いの観点から言えば、例えば『私の適性は何でしょうか？』と聞かれた場合、即座に命式を出して一方的に鑑定するのは、西洋的と言えるでしょう。

相談者に対する時、単に目の前にいる相談者の質問に合わせるのではなく、この場合であれば、なぜ適性を知りたがるのか、自分ではどう思っているのか、そういった質問が出てくるまでの背景をカウンセリングしていくことが大切です。

相談者は、本当に知りたいことが自分でもわかっていません。

血の病気になる、健康な血は作れません。なので他人の血で代用しましょうとなりますが、この治療費は、ばか高いのです。一ヶ月に300万ぐらいかかるのです。そんなレベルなのが西洋の医学です。

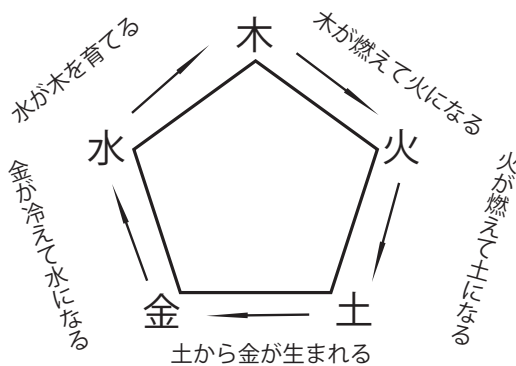
東洋の医学は、病名はどうでもよくて、病気の状態がわかれば何とかなるのです。 状態がわかれば、五行を使ってありとあらゆる方法を試していくことができます。病態がわかればいいのです。

アトピーの例で言いましたように、アトピーは、肌の病気です。肌は五行で言うと金です。金は肺と大腸です。それなら肺と大腸を健康にする漢方薬を出すというのが、ひとつです。

もうひとつは、金を生じるのは土ですね。土は、胃と脾です。すなわち消化です。消化がうまく行かないからアトピーが発症しているという可能性もあります。その場合は、消化の負担を軽くする胃と脾の薬を出します。

■五行の相生の場合

古典的流れ

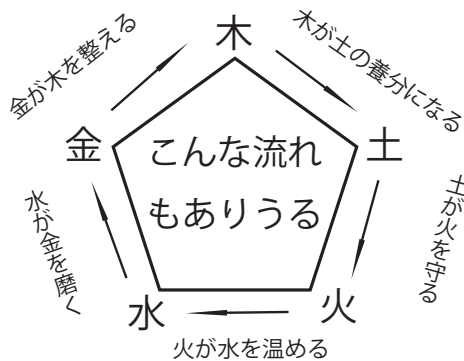


一方で、金は水を生じます。水が弱っているからかも知れない、その場合には腎の薬を出すのです。

または、もしかしたら家庭環境やストレスで心が弱っている可能性があります。心は火です。火剋金で金をコントロールしないといけないので、精神から来ているので、なにか不満があり、それが原因でアトピーになっているとしたら、心を治すのです。

このように、『木・火・土・金・水』を使った、様々な手法が、漢方の場合をとれるのです。だから希望の医学なのです。病名などどうでもいいのです。病態がわかれば、色々考えて処方できるのです。

例えば五行の相生を、こんな風にも作ることができる。



理論を暗記していればいいというものではない。

◆理と気

西洋医学というのは、『理気』で言うと、理の医学なのです。

例えば、熱がある、では熱を下げましょうといった解熱剤を飲む、咳が出る、じゃあ沈咳剤、咳を鎮める薬剤を飲む、痰が出る、痰を取る去痰剤を飲む、鼻水がでる、抗ヒスタミン剤を飲む、食欲が無い、消化剤を飲む、下痢が続く、下痢止めを飲む、こういうのが西洋医学の理なのです。

東洋の場合は、『理気』で言うと、気の医学です。

熱があるといったとき、どういう経緯で熱があるのかといったところまで踏み込みます。寒さが身体に入ってしまったら寒邪なのか、それとも逆の熱邪なのか、原因によって対処が違います。同じ鼻水にしても、寒邪の鼻水は熱っぽいのです。熱邪の鼻水はねばりっこいのです。

問診で声が小さいと思う場合があります。声は肺をつかいます。なので肺がおかしいのかもしてみていきます。肺が虚の状態

	西洋医学	理
絶望	*検査をして、病名を決めて、薬を出すなど科学的な治療方法を決定し、数値を正常に戻す。	解熱剤 沈咳剤 去痰剤 抗ヒスタミン剤 消化剤
希望	*気持ち、形、熱感、色、感覚、湿り気、音、外傷などを細かく見て聞いて、患者が訴えている悩みの原因を探す。	問診 聞診 望診 切診 腹診
	東洋医学	気

態。肺というのは金なので、もしかしたら金が生じる水の腎もおかしくなっているのでは？と疑ってみるのです。

◆絶望の運命学

東洋医学では、とてもこの問診というのを大事にしています。西洋医学と同じような発想で占いをやってしまうと、やはり絶望の運命学になってしまうのです。

絶望の運命学とは、五行の強弱を点数で決めて、内格や外格という格を決めて、喜ぶ神と忌む神を決めて、この喜忌を決めた瞬間に人生が決まってしまう運命学のことを言います。財星、官星、印星、比劫、食傷などありますが、それぞれに○×が付いてしまうのです。

※自分の悩みに気づいている相談者はほとんどいないです。

例えば転職のことで相談を受けても、問診をしていくと、本当は妻や夫、子どもや親などに対する悩みが根本にあった、そんなケースがけっこうあります。

初めから占いデータに答えを求めると、相談者の悩みの根本にたどり着くことができなくなりま

す。

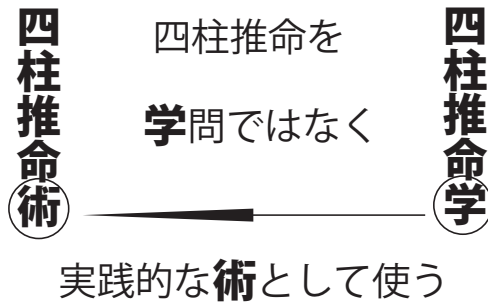
もし財星が×で忌む神だと、あなたはお金儲けはできません、となります。もし命式に財星があつたとしても、財を得ようとした結果あなたは不幸になります、と診断されるのです。それは忌む神だからです。

官星に×がついてしまうと、あなたは仕事運がありません。仕事を求めて行動を起こすが、仕事をすれば不幸になりますということなのです。

印星が×だとすれば、あなたは人気運がありません、あなたには知恵がありません、あなたを助けてくれる人は出てきません、となってしまうのです。

比劫が×だと、あなたは独立できません、一生サラリーマンのままでもいい、何故ならば独立心がありません。

食傷に×がつくと、あなたは財源がありませんから、才能はないのです。おとなしくサラリーマンでもやっておきなさい、となるのです。

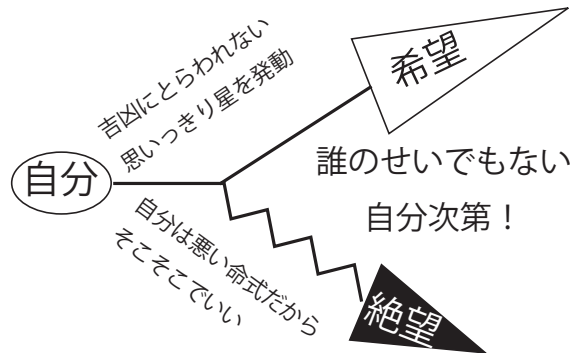


このように決まった人生となってしまう、希望がありません。絶望の運命学と言えますね。こういうのを、革新していかないとだめなのです。命式がこうだから何々だ、という発想は、これからはやめないといけないのです。

四柱推命が発明された一千年前というのは、生きることで一生懸命な人たちがばかりで、『虚』の人があまりいなかったのです。悩んでいたりすると、今日のごはんが食べられない、働かないと食べられない、社会保障も年金もないのですから、ノイローゼになっっている暇がないのです。

現代はうつ病がとても多いですが、これは『虚』の病気です。『虚』の病気とは何かというと、四柱推命の**命式が、きちんと発動していない**ということなのです。発動していないということは、当てるという目的で占いしてもムダなのです。

日干を中心に通変星を出しますが、この通変星というのは、十干と十干の組み合わせです。この十干が生きている状態というの



が前提なのです。

例えば、日干が甲でその横に庚があつたとしたら・・・。

下記は、大リーガー松井秀喜の命式ですが、甲らしく深く考える思考性がある、甲らしいプライド、地位を求め、庚の合理的な行動力もある、甲も生きている、庚も生きている、そして初めて庚が甲を剋し、偏官となるのです。

偏官というのは、組織の中で出世していくような星です。だから、松井の口からは、フォー・ザ・チームという言葉が出るのです。これは甲も庚も生きているから、この言葉が出るのです。おそらく松井は将来監督業につくでしょう。

ところが、『私悩んでいます』という人は、甲が生きていないし、庚も生きていないのです。当然、通変星も生きていないです。つまり、通変星を出しても意味がないのです。

※松井秀喜の命式

(1974年6月12日生まれ)

年柱	甲	寅
月柱	庚	午
日柱	甲	申

◆教科書通りの十二運星は、

カウンセリングではあまり意味がない

十干と十二支で十二運星を出しますが、これは意味がありません。後の章で詳しく説明します。

そして、この命式の場合だと、庚が用神、甲が体神、となりませんが、**体神**というのは**人生の目的**です。人生の目的は甲の、地位、名誉、権力となり、用神の庚は、仕掛ける方ですから、冷静な行動、合理的な行動となっていくでしょう。

甲も庚も死んでいる人は、用神も体神もないでしょう。用神も体神もないということは、人生の目的もない、その目的達成手段もないということなのです。

運命学を使うときは、生きるために、持って生まれた星を一生懸命使っている一千年前と違って、今は、命式が発動しなくても生きていける時代なのだと、いうことを認識しないといけません。

甲 ← 庚

《体神》

人生目標

《用神》

達成手段

そこで、ヒアリングしながら、どこが死んでいるのかを確かめていくのです。

◆五行と東洋医学の事例

***喘息というのは、肺の病気ですね。**

肺が虚の状態です。

肺は金です。金は肺と大腸です。

喘息だから肺をみるだけではなく、大腸もみるのです。便はどうですか？と問診するのです。

***便を作るのは土です。**

土は胃と脾です。

胃がちやんと動いていない人は、口臭がします。問診の最中に口臭がする場合は、胃と脾が弱つているとみるのです。

***金は、水に移行します。**

※仏教用語に、六識というのがあります。般若心経にもありますが、これは、人間が備え持つ認識のことで、

眼識

耳識

鼻識

舌識

身識

意識

の総称のことです。

眼や耳が、それぞれ音や色などを認識するのに対して、意識は対象を総括的に捉える心の動きと教えています。

つまり六識を総動員して相談者に対することが大切です。

水は腎です。

喘息ですといったときに、肺・大腸のほかに、胃・脾を疑ってみる、腎を疑ってみる、といったように、様々な手法で病気を治していきます。

もし大腸で改善がみられた場合には、当然ながら肌が綺麗になります。喘息が治ったたら肌が綺麗になった。これはよくあることなのですが、ところが西洋医学では、理の医学なので、なんで喘息が治ったから肌がきれいになるのか、理論がないじゃないかとなるのです。これは、今の科学では説明できていないだけで、中国では当たり前のことです。

***胃は、土の病気**です。

土が虚ということです。

土をコントロールするのは木ですね。

木は肝です。

■五行別養生方法

***木タイプ**.. 睡眠の充実

***火タイプ**.. 性の充実

***土タイプ**.. 食の充実

***金タイプ**.. 運動の充実

***水タイプ**.. 修行の充実

肝というのは、イライラ、怒りです。

何かイライラすることは無いですか、怒りを抱いていないですか、というように問診をします。

この怒りというのはどこから来るかというと、自分の思っているとおりに行動できないことから来ます。自分はこうやりたいのにできないときに、自分に対して怒りが湧いて来るのです。

行動できないのは、水の腎が弱いからなのです。水が木を生じるので、イライラや怒りは、水の腎に原因があるかもしれない、その場合は、腎を強くするのです。腎を強くして行動する、**行動すると怒り（木）が消え、イライラが消え、肝（木）が元気になる。**肝が元気になる、**土を上手くコントロール**できるのです。土の消化器が整ってきます。

※睡眠について

睡眠時間の不足がストレスを増加させているという説があります。ただしこれも、8時間睡眠が理想的だという説にとらわれているだけで、確かな根拠があるわけではありません。

この誰かが定義した平均睡眠時間を意識することによって、それよりも少ないと思えば悩むほうが、かえってストレスになります。

質の良い睡眠を、自分の生活に合わせて見つけることが大切です。

※夢

東洋医学の書籍に、「肝気盛んなれば怒る夢をみる」、「肺気盛んなれば涙する夢をみる」など、蔵と関連付けているのもあります。

◆本治と標治

喘息や便秘、肌の吹き出物、あるいは花粉症、花粉症は鼻、肺の病気ですね、これはまったく症状が違いますね。ゲホゲホ言う喘息、便が硬くなるという便秘、肌が汚くなる吹き出物、鼻がいつもグズグズ言っている花粉症、これらはまったく病態が違います。

しかし根っこにあるものは五行の金です。肺・大腸です。この根っこまでたどって行って、**根っこから治すのを本治**^{ホンチ}といいます。喘息だから、喘息の薬をあげましょう、便秘だから便秘の薬をあげましょう、肌に吹き出物ができるから、ステロイド剤をあげましょう、花粉症なら鼻水を止める薬をあげましょう、こういうのを**標治**^{ヒョウヂ}といいます。とりあえず直しましょうということなのです。

東洋の医学も運命学も、本治、つまり、色々ヒアリングして、その元にあるものを治そう、元を治せばすべてが整うという考えがあります。これが東洋のものすごく優れたところなのです。根っ

※陰主陽従

陰陽論とは、陽陰とはいわず、陰が先に来て『陰陽』といいます。これは、陽的なものの裏には陰があり、陰の力によって、陽は姿を変えるといった意味があります。

体表に現れているのが陽、その原因となっているのが陰と考えることができます。

こを一つ治せば全て治るのです。

運命学もそんなふうに使いたいです。元を治せばお金も儲かります、仕事もうまくいきます、人間関係も良くなります、結婚もできます、いい車にも乗れます、家も持てます、全部が良くなるのです。標治はつまらないですよ。

◆食事のとり方

余談になりますが、毎日食べる食事について、何をどのぐらいとったほうがいいのか、そのぐらい知っておいたほうがいいでしょう。温と冷とにわけます。

*体を温めるもの

酸っぱいもの、

*陰..内側、深いところ、

裏面、下方、府

*陽..外側、浅いところ、

表面、上方、蔵

※陽をどれだけ整えても、陰の調整がなされていなければ、本治とはいえません。陰の力が充実してくれば、表の陽の症状は治まってきます。ただし、陰陽は、ここからが陰でここからが陽だと決めつけられるものではなく、常に変化しています。

しょっぱいもの、

辛いもの、

キムチや梅干し、

酢の物です。

*体を冷やすもの

甘いもの、

苦いもの、

渋いもの、

女性で、甘いものが好きな人が多くいますが、ケーキとコーヒールとか、和菓子と抹茶など、体が冷える食べ物です。それで身体の調子が悪い悪いと言っている人が多いですが、たいてい甘いものが好きです。

***体を温める食品**では、米、とうもろこし、大豆、ごま、ココナツ

※当然のことですが、食べ物の種類や食べる量などは、人によって違います。運動量の激しい人、じっとしている人、からだの大きい人、小さい人、男性、女性、大人、子供、老人など、何をどのくらい取ればいいのかは、決め付けることは出来ません。

しかし、共通して言えるのは、その消化には相当の体力を要するということです。食べたものはエネルギーになりますが、必要以上ものを摂取すれば、かえって身体に負担になるのです。

ツ、ほうれん草、ネギ、しょうが、わさび、りんご、バナナ、ぶどう、みかん、びわ、きのこ、昆布、お酒ではブランデー、バーボン、などです。

運命学の本にウソが結構書いてあるのですが、暖かい所でとれた食べ物は身体を冷やす、寒い所でとれた食べ物は身体を温める、という記載、これは信じないほうがいいです。

例えばバナナは暖かい所で取れますが、体を温めるのです。

***体を冷やすものは、むぎ、ひえ、パン、キャベツ、しそ、レタス、トマト、きゅうり、**といったように生野菜やサラダに多い野菜です。体をもともと冷やす食べ物を、わざわざ冷やして食べていると、どんどん冷え性になっていきます。

いちご、スイカ、メロン、なし、ひじき、もずく、ウイスキー、コーヒー、日本酒はコメから作られるので体を温めるのでしょね。

こういった食品を、ご自分で検証し見てください。

※インスタント食品などは、人間の体に最も同化しにくく、消化に多大の気力を要します。そのくせ、『気』の少ない栄養価の低い食品でもあります。

※料理は作る人の気持ちで味が違ってきます。

また、食事時間やタイミング、食卓を囲む人、雰囲気、場所なども目に見えない影響があります。単に栄養成分だけでは決められないということです。

私は冷え性なので、お酒は日本酒かバーボンです。つまみは、ナッツ類、塩辛いものなどです。野菜はあまり食べません。身体を冷やすからです。真夏の暑い時にスイカ、メロンなどは食べませんが、わざわざ食べようとは思いません。

***肉にも、木火土金水の区別があります。**

木…にわとり

火…ひつじ

土…うし

金…うま

水…ぶた

となります。

北海道のスーパーでは、羊の肉をたくさん売っています。確かに体が温まります。

■食養法の種類

***身土不二論**

自分が住んでいる土地の食べ物をいただく。

***一物全体論**

植物の持つ栄養素をすべてとり入れようとする。

***陰陽調和論**

鉱物性のものが最も陰的、次に植物性が陰性、動物性が陽性。

◆希望の運命学へ進化するためには、星を元気に発動させる

絶望の運命学から、希望の運命学に転換するポイントは、とにかくすべての星を元気に発動させることです。そうすれば、絶対に開運して、運のいい人になっています。

相談に来る人は、星が死んでいる状態だと思ってください。

いかにして持っている星を発動させるかが大切なのです。

その結果いいことが起きると言うよりも、耐性のある運命に転換することができます。

◆罪悪感が運命を狂わせる

今、私がずっとカウンセリングしている、ある会社の社長がい

※相談者の持っている星を発動させるには、いかに正確に占いの結果を伝えるかではなく、いかに発動へ導くかが重要です。時にはうそも方便。大切なことは、どうやって相談者を『虚』から脱出させるかです。もし、作り話が相談者の星の発動を奮起させるのなら、それは、マニュアル通りの鑑定結果よりも、より正解と言えるでしょう。

ます。もう何年も付き合っていますが、私の場合、占いを使って診断したとしても、決断を出すまでに20回〜30回は会います。彼はうつ病です。ときどき心臓が止まりそうになって病院に運び込まれるのです。

私もこの彼も、東京に仕事で出かけることがあります。そこであるとき、東京の居酒屋で待ち合わせしたことがあるのですが、両手にたくさん百貨店の袋を持っているのです。

「いったい、何を持っているのですか？」
と聞いたら、奥さんへのおみやげなのだそうです。

奥さんといっても、60才のオヤジが、やっぱり同年代の奥さんに、洋服を買っておみやげに持って帰るなんて、おかしいなと思ったのです。一着10万円ぐらいする洋服です。「何かあるな・・・」、とそこで感じて、奥さんとの関係などをヒアリングしてみました。

本当は仕事の相談だったのですが、奥さんのことが気になったので、少し突っ込んで聞いてみたのです。そうしたら、「オレが

妻をうつ病にさせてしまった

俺が悪い

俺のせいだ

罪悪感

悪いのは俺だけじゃない

お前だって悪い

悪い」「オレが悪いことをしたのだ」という罪悪感を持っているのです。

この奥さんも、うつ病です。妻をうつ病にしたのはオレなのだと。なぜかというと、10年ぐらい前にこの社長は、彼女を作って、それが問題になったのです。その女性のタチが悪く、奥さんに何度も何度も嫌がらせの電話をしていたのです。そのとき、彼はまったくそれを知りませんでした。そして、この奥さんも、ダンナが彼氏を作ったのは自分のせいだと、自分を責めているのです。そしてうつ病になったのです。

そこで家においておくのも心配だということで、職場に奥さんを連れて行って面倒を見ているのです。東京に出張に来たときは、罪滅ぼしの意味で、高い洋服をおみやげに買って帰っていたのです。

さあ、どうしたらいいのでしょうか？

この社長は、仕事の問題も、人間関係の問題も、たくさんあるのです。しかしすべての根っこは、妻への罪悪感なのです。これ

夫が浮気したのは私が至らなかったから
気づかなければいい 男は浮気する生き物
仕方ない

うつ病

私を裏切った 自分ばかり
やっぱり許せない 嘘つき
私のどこが悪いっていうの

を取らないことには何をやってもダメなのです。

◆ 偽りの優しさ

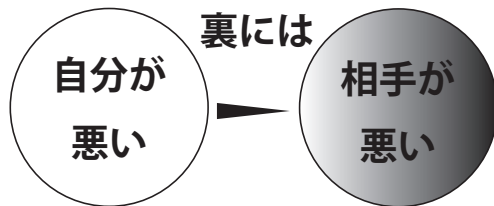
その経営者の彼は、女性によくモテて、今も彼女がいるそうなのです。で、奥さんが何て言っているかというところ、「私にわからないようにしてくれればそれでいい」と言っているそうなのです。この社長の日干は『乙』です。

癸 (偏印)

乙 (日干)

その横に『癸』があります。偏印です。『乙』なので、協調性があり、和むような優しい言葉を使うことが、一応できます。隣の月柱が『癸』なので、知識も豊富で『偏印』の、話の面白さもあります。

会社の経営者なので、少し自由になるお金を持っています。女



自分を責める人は、裏では相手を責める
自分でも相手でも
誰かが悪い間は、安らがない

性に対して、お金を沢山使ってあげることができます。

知識もあつて頭がいい、楽しい話題が豊富、お金もある、そうになると、普通の女性は寄ってきます。その結果、奥さんは、妻という立場でもっといい思いをしているのだから、自分にも、あれやっつてちょうだい、これやっつてちょうだい、となってしまうのです。

実際に話してみると、彼は優しいかというと、優しくありません。ほんとうの意味での愛情は誰に対してもありません。自分に対してもです。冷たいです。

それをどこで見分けるかというと、人の話しを真剣に聞いているかどうかでわかります。彼は、聞かないのです。聞いているふりはしますが、でも、相手のことを知りたい、もっと深く知りたい、相手の魂は何だろう、そういった踏み込んだ会話ができないのです。愛情がないのです。

四柱推命でみると、日干が乙だから優しいフリ、人と人との和を大切にしているフリができる、協調性のあるフリが出来るので

愛

勘違い

欲望

愛に後悔や

罪悪感 は

生まれない

す。表面的には知識のあるフリができる、でもみんなこれ偽物なのです。

◆怒ると今までの人間関係を失ってしま う恐怖

探っていくと、心にあるのは怒りです。自分は正しいことをしているはずだ、でもうまくいかないという怒り、これをため込んでいるのです。私の仕事というのは、この怒りを外に出す。吐き出させるといふことなのですが、出さないので。怒りを外に出してしまうのが怖いのです。仕事のできない部下なら叱る、仕事のできない取引先なら切ってしまう、奥さんにも、面と向かって自分の意見を言う、喧嘩をする、そうすると、どんどん失うもの

※乙だけが偽善者というわけでは
ありませんので、乙の名誉のため
に長所と短所をご紹介しておきま
す。

*長所

調和、柔軟性、足を知る謙虚さ、
高い志を持つ、グループの要、物
分りが良い、与えられた仕事を一
生懸命やる、人を傷つける言葉を
口にしない。

*短所

言葉だけ暗記、八方美人、ばかに
されたくないためムダにしゃべ
る、他人の影響を受けやすい、自
分の意見がない、人目を気にする、
決断できない、責任を負えない

が増えてきます。本気で怒ると、失うものが必ず出てきます。

だけこの社長は、何も失いたくないから怒ることができないのです。ずるいでしょう。今持っているもの、みんな失いたくない、だから怒りをためこんで、うつ病になって、心臓がおかしくなってしまうのです。

◆大切なものを捨てる勇氣


私は一生懸命、この社長を突っついて怒りを外に出そうとしているのですが、決して怒りを出しません。もう60才になって、食べるに困らないだけのお金はあるのだし、もうすぐ年金ももらえるようになるし、腹をくくって、怒りを外に出すといいいのです。それで会社がだめになるようなら、つぶしましょうよ、全社員クビにしましょうよ、奥さんが腹立てて出て行ってしまうのならい

※人は孤独をとても恐れるので、常にしがみつけるような誰かを欲しがっています。もし、一人ぼっちになってしまふ恐怖を受け入れることができたなら、もっと早い転換が期待できます。

いじやないですか、一人になってみればいいのです。全部、本心に素直に従って整理してやりましょうという提案をしているのですが、決してやりません。

最初のほうで言いましたが、開運への第一歩は、なにか新しいものを身体に入れるのではなくて、今まで繰り返しやってきたことを捨てること、やめることから始めるのです。捨てることが出れば、本来、彼の持っている魂が出てきて、自分と会話できるようになるのです。そうすると自分に対する愛情が出てきますから、その結果、他人も愛することができるようになるのです。

問診する場合に、その人が**一番捨てたほうがいいものは何か？**
一番恐れているものは何か？それを、よくヒアリングしながら発見してください。これを発見して、そこを捨てることができると、必ず開運しますから。



愛は
与えれば与えるほど
豊かになる。